

2022年3月17日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報サステナビリティ推進部: 呉藤・佐藤
 (問合せ先: 03-6887-1274)

30代・40代の金銭感覚についての意識調査 2022

30代・40代の貯蓄額の平均は291万円、前回調査から8万円増加

30代では41万円増加、40代では36万円減少と年代差が顕著

サブスクサービスにお金をかけている30代・40代は33.4%

かけている金額の全体平均は1,528円/月、前回調査から576円の大増

30代・40代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収600万円」、前回調査からハードルが上昇

30代・40代有職者が管理職になってもいいと思える年収は平均913万円、前回調査から120万円の大増

「お金について学び直したい」30代・40代の60.3%

学び直したいことTOP3は「資産形成・資産運用」「生活設計」「保険・リスク管理」

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:金子 良平、<https://www.smbc-cf.com/corporate/>、サービスブランド「プロミス」)は、2022年2月4日～5日の2日間、30歳～49歳の男女を対象に「30代・40代の金銭感覚についての意識調査2022」(*)をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

*前回調査である「30代・40代の金銭感覚についての意識調査2021」は2021年2月に調査(2021年3月17日発表)しております。

- TOPICS -

【30代・40代のお小遣い・貯蓄事情】 P.3～P.10

- ≫ 30代・40代の毎月のお小遣いは平均33,265円、前回調査から3,073円増加
- ≫ 30代・40代の貯蓄額の平均は291万円、前回調査から8万円増加
30代では41万円増加、40代では36万円減少と年代差が顕著
- ≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」30代・40代の78.1%、前回調査から12.1ポイント上昇
- ≫ 30代・40代の93.4%が「老後の生活資金は年金だけで十分だと思わない」と回答
- ≫ 30代・40代の77.3%が「老後が不安」と回答、女性では80.8%
- ≫ リタイア時にあれば安心できる貯蓄額はいくら? 平均2,947万円、前回調査から397万円の大増
- ≫ 30代・40代の毎月の貯蓄状況「預貯金をしている」64.4%、預貯金している金額は平均42,270円/月
「貯蓄型保険に加入している」27.0%、貯蓄型保険に払っている金額は平均20,476円/月
- ≫ 預貯金をする理由TOP2は「老後の生活費のため」「万が一のときの備えとして」
30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」が高い傾向
- ≫ 貯蓄のために我慢することがあるものTOP5は「外食」「ファッション」「旅行・観光」「飲み会」「おやつ」
30代女性では4人に1人が「美活」と回答

【30代・40代の消費意識と消費実態】 P.11～P.25

- ≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額はいくら? 使いすぎたと感じる金額がある人の平均は43,815円/月
- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額は平均16,418円/月
- ≫ お金をかけたいと思うことTOP5は「旅行・観光」「子どもの教育」「外食」「住まい」「ファッション」
- ≫ 30代・40代のゲーム課金に対する意識
「お金を使わないと楽しく遊べない」13.6%、「レアアイテム・キャラを入手すると誇らしい」27.7%

- ≫ 30代・40代のゲーム課金実態「ゲーム課金をしている」10.8%
かけている金額は平均 6,336 円/月、前回調査から 2,277 円の大幅増加
- ≫ 「ゲーム課金に後悔したことがある」18.2%、30代男性では 30.0%
- ≫ サブスクサービスにお金をかけている 30代・40代は 33.4%
かけている金額の全体平均は 1,528 円/月、前回調査から 576 円の大幅増加
現在利用しているサービス「動画配信」がダントツ
- ≫ サブスクサービスを利用する理由 1位「気軽に商品・サービスが利用できるから」
- ≫ 「投資をしている」30代・40代の 34.5%、投資に回している金額の平均は 36,964 円/月、投資対象 1位は「投資信託」
- ≫ 投資をする理由 TOP3 は「老後の生活費のため」「万が一のときの備えとして」「小遣い稼ぎのため」
30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」、30代女性では「子どもの教育費のため」が高い傾向
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」30代・40代の 21.6%、かけている金額は平均 8,192 円/月
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」30代・40代の 52.9%、かけている金額は平均 8,519 円/月
- ≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」30代・40代の 13.4%、かけているお金は平均 4,801 円/月
- ≫ コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいもの 女性の約半数が「旅行・観光」と回答
- ≫ 「エシカル消費をしたことがある」30代・40代の 47.5%、北海道・東北エリアでは 53.6%
- ≫ エシカル消費として積極的に買いたいもの TOP3 は「省エネ商品」「地産地消になる商品」「リサイクル素材を使った商品」
- ≫ 「ポイントを貯めている」30代・40代の 87.5%、女性では 92.0%
ポイントの貯め方 TOP2 は「買い物」「ポイントサイト経由で買い物」、
「ウォーキングアプリ」「アプリダウンロード」「レシート投稿」「電子マネーチャージ」が TOP10 にランクイン
ひと月あたりに何円分のポイントを貯めている？ 平均は 3,078 円

【ライフイベントと収入事情】 P.26～P.28

- ≫ 30代・40代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 30代・40代の 5人に 1人が「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」と回答
- ≫ 30代・40代の半数以上が 1人目の出産・子育てに前向きになれるのは「年収 600 万円」
- ≫ 30代・40代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 30代・40代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 800 万円」、前回調査からハードルが上昇

【就業意識と収入】 P.29～P.30

- ≫ 30代・40代有職者が管理職になってもいいと思える年収は平均 913 万円、前回調査から 120 万円の大幅減少
- ≫ 30代・40代有職者の 64.0%が「70歳以降も働いていると思う」と予想
働いていると思う理由 1位「働かないと生活費が足りないと思うから」

【30代・40代のマネートラブル経験と金融リテラシー】 P.31～P.34

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」30代・40代の 6人に 1人
経験した詐欺被害 1位「マルチ商法・ねずみ講」2位「ネットオークション詐欺」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」30代・40代の 4人に 1人
- ≫ 「お金について学び直したい」30代・40代の 60.3%
学び直したいこと TOP3 は「資産形成・資産運用」「生活設計」「保険・リスク管理」
- ≫ 「子どもにお金について学んでほしい」親の 75.7%
学んでほしいこと TOP3 は「資産形成・資産運用」「生活設計」「お金のトラブル」

アンケート調査結果

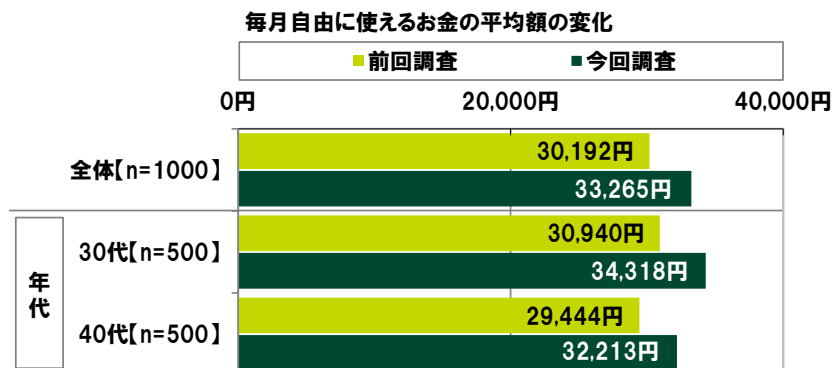
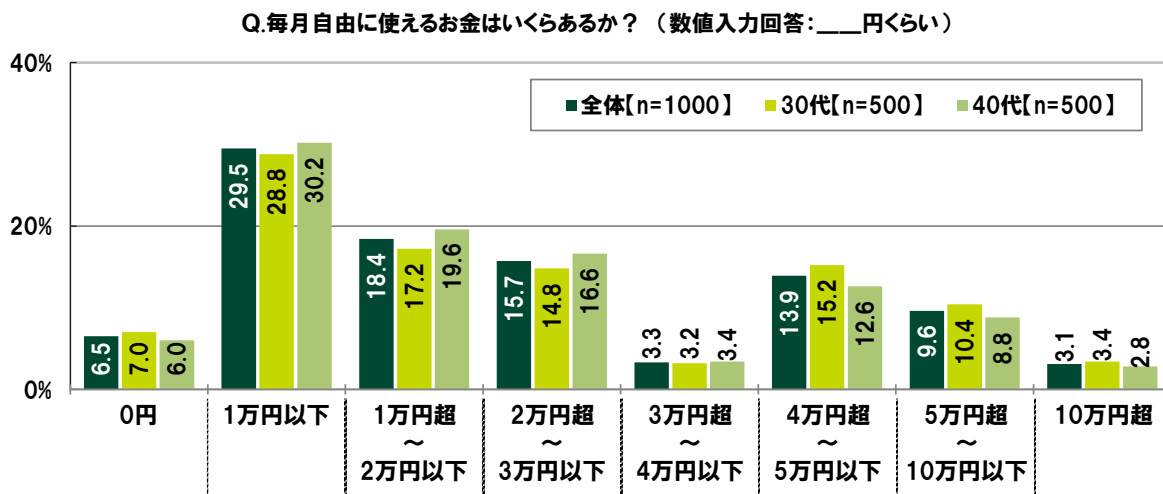
【30代・40代のお小遣い・貯蓄事情】

 ≫ 30代・40代の毎月のお小遣いは平均 33,265 円、前回調査から 3,073 円増加

全国の30歳～49歳の男女1,000名(全回答者)に対し、毎月自由に使えるお金はいくらあるか聞いたところ、「1万円以下」(29.5%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(18.4%)や「2万円超～3万円以下」(15.7%)、「4万円超～5万円以下」(13.9%)にも回答がみられ、平均は33,265円でした。

前回の調査結果(※1)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は3,073円増加(前回調査30,192円→今回調査33,265円)しました。年代別にみると、30代では3,378円増加(前回調査30,940円→今回調査34,318円)、40代では2,769円増加(前回調査29,444円→今回調査32,213円)しました。コロナ禍における新しい生活様式への適応や家計の見直し、子育て世帯への臨時特別給付金などによって、経済的余裕が生まれた人がいるのではないのでしょうか。

※1: SMBCコンシューマーファイナンス「30代・40代の金銭感覚についての意識調査 2021」より



≫ **30代・40代の貯蓄額の平均は291万円、前回調査から8万円増加**
30代では41万円増加、40代では36万円減少と年代差が顕著

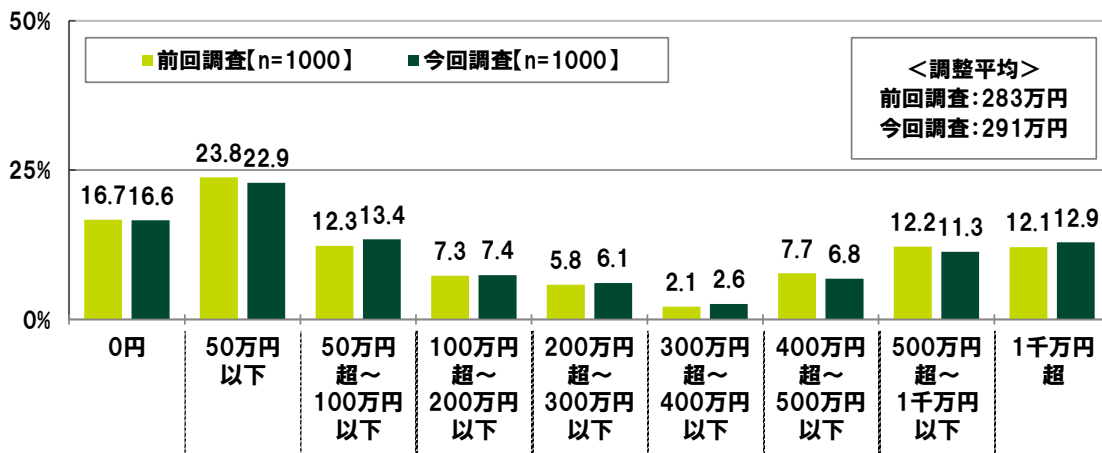
次に、貯蓄状況について質問しました。

現時点で、どのくらいの貯蓄ができていますか聞いたところ、「50万円以下」(22.9%)に最も多くの回答が集まったほか、「0円」(16.6%)や「50万円超～100万円以下」(13.4%)、「1千万円超」(12.9%)、「500万円超～1千万円以下」(11.3%)にも回答がみられ、調整平均(※2)は291万円でした。

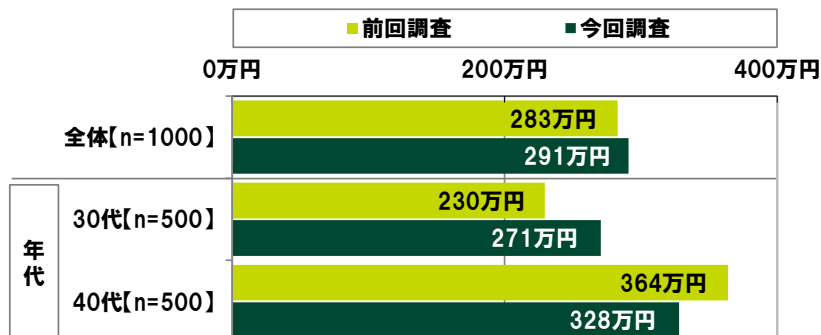
前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均は8万円の増加(前回調査283万円→今回調査291万円)となりました。年代別にみると、30代では41万円の増加(前回調査230万円→今回調査271万円)となったのに対し、40代では36万円の減少(前回調査364万円→今回調査328万円)と、年代により対照的な結果となりました。40代では、コロナ禍で長期化した消費抑制・買い控えや、一昨年の特別定額給付金によって積み上がった貯蓄の一部が取り崩された傾向がみられます。コロナ禍で先送りをしてきた、住宅・住宅設備・自動車・家具・家電・旅行・教育などのライフイベントに関連した大型消費が、緊急事態宣言解除など反動消費のタイミングにおいて、一定程度発生した影響があるのではないのでしょうか。

※2:当該設問では、上位数%のデータにみられた極端な値(貯蓄額が数億円など)の影響を除外するため、10%調整平均(上位と下位からそれぞれ10%のデータを除外して算出した相加平均)を利用しています。

Q.現在貯蓄できているお金はいくらあるか？(数値入力回答:___万円くらい)



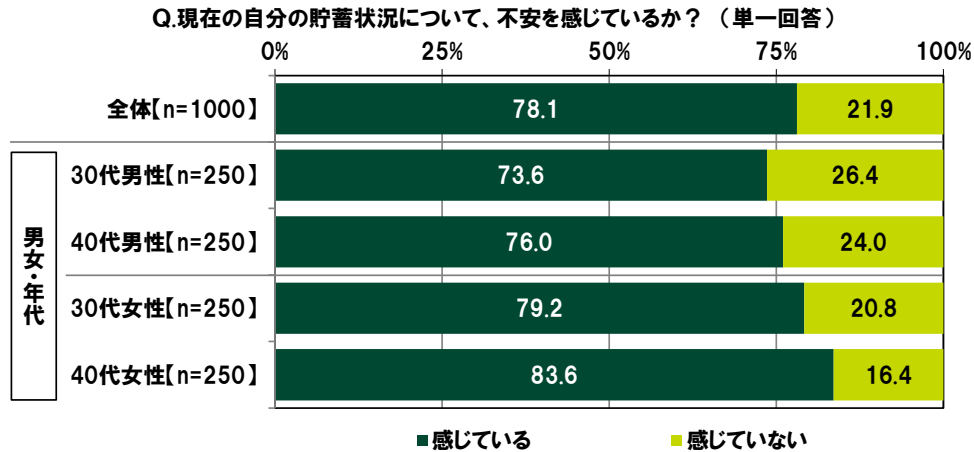
現在貯蓄できているお金の調整平均額の変化



≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」30代・40代の78.1%、前回調査から12.1ポイント上昇

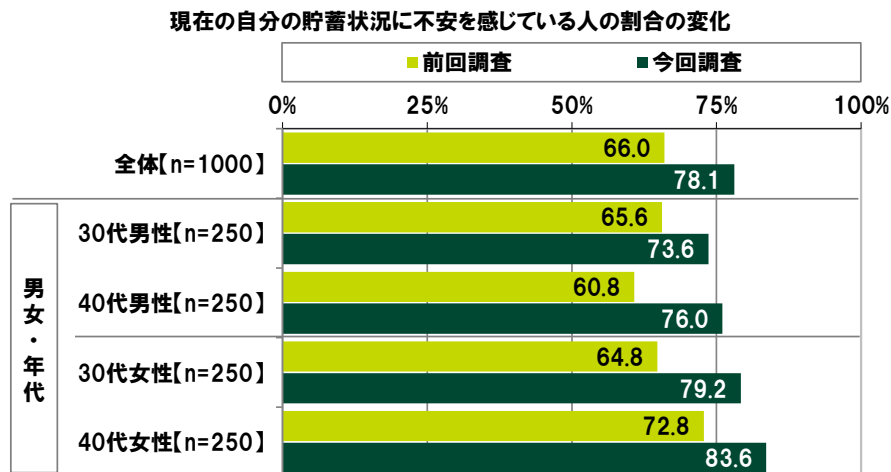
現在の自分の貯蓄状況について、不安を感じているか聞いたところ、「感じている」は78.1%、「感じていない」は21.9%となりました。

男女・年代別にみると、不安を感じている人の割合は、40代女性(83.6%)が最も高くなりました。



前回の調査結果と比較すると、不安を感じている人の割合は、全体では12.1ポイントの上昇(前回調査66.0%→今回調査78.1%)となりました。長引くコロナ禍で経済の先行き不透明感が増し、自身の貯蓄状況に対して不安を抱くようになった人が増えているのではないのでしょうか。

男女・年代別にみると、不安を感じている人の割合は、40代男性では15.2ポイントの上昇(前回調査60.8%→今回調査76.0%)と、上昇幅が最も大きくなりました。



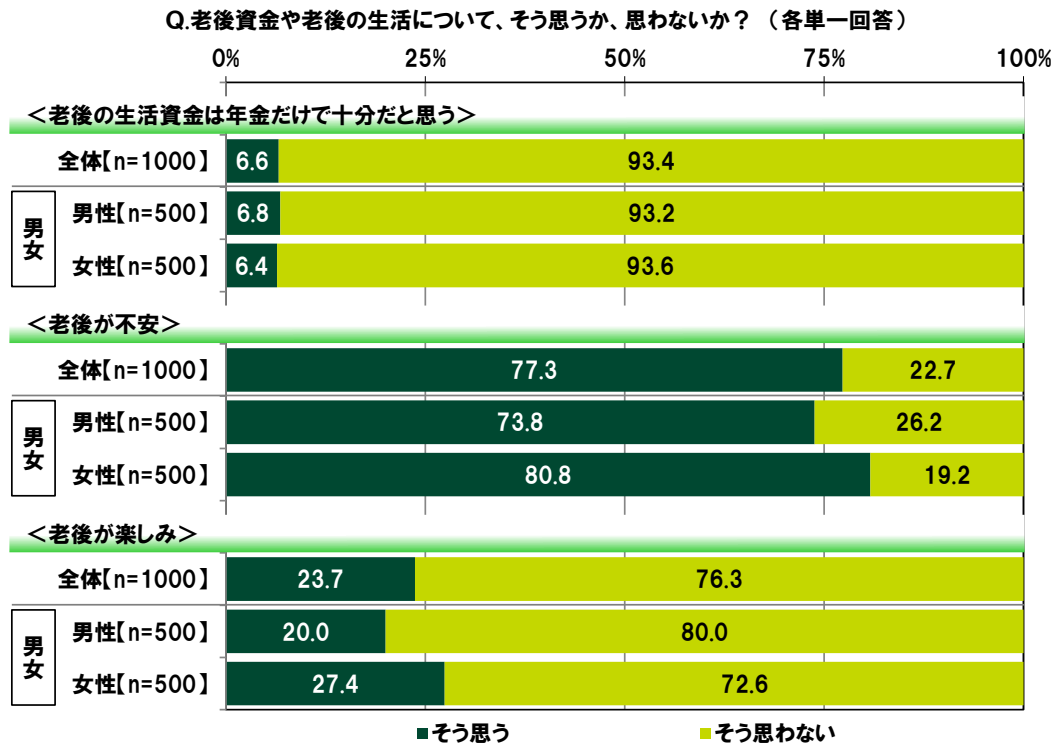
- ≫ 30代・40代の93.4%が「老後の生活資金は年金だけで十分だと思わない」と回答
- ≫ 30代・40代の77.3%が「老後が不安」と回答、女性では80.8%

老後資金や老後の生活に対する意識を聞きました。

全回答者(1,000名)に、老後資金に対する意識を聞いたところ、<老後の生活資金は年金だけで十分だと思う>では「そう思う」が6.6%、「そう思わない」が93.4%となりました。30代・40代の大多数は、年金だけでは老後の生活資金をまかなえないと考えているようです。

また、老後の生活に対する意識を聞いたところ、<老後が不安>では「そう思う」が77.3%、<老後が楽しみ>では「そう思う」が23.7%となりました。

男女別にみると、女性では、<老後が不安>で「そう思う」と回答した人の割合が80.8%と、男性(73.8%)と比べて7.0ポイント高くなりました。



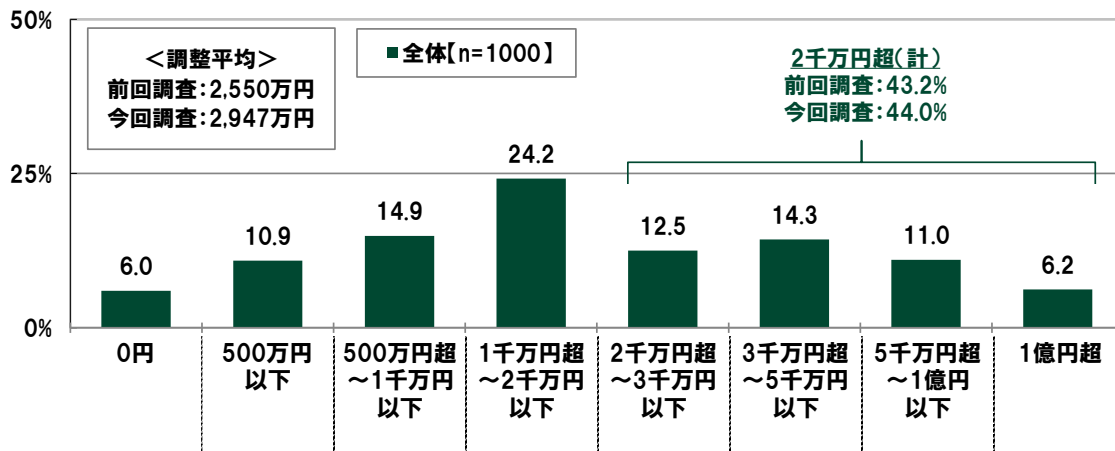
≫ リタイア時にあれば安心できる貯蓄額はいくら？ 平均 2,947 万円、前回調査から 397 万円の大幅増加

では、リタイア時に貯蓄がどのくらいあれば安心できるイメージしている人が多いのでしょうか。

仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか聞いたところ、「1 千万円超～2 千万円以下」(24.2%)に最も多くの回答が集まったほか、「500 万円超～1 千万円以下」(14.9%)や「3 千万円超～5 千万円以下」(14.3%)、「2 千万円超～3 千万円以下」(12.5%)にも回答がみられ、調整平均は 2,947 万円でした。また、『2 千万円超(計)』の割合をみると 44.0%でした。

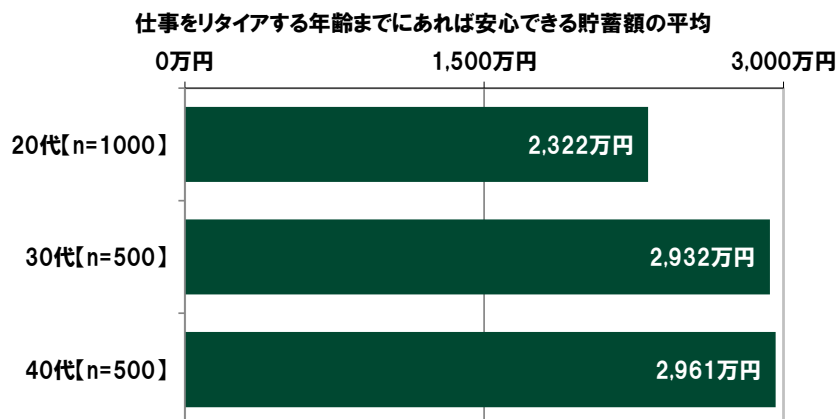
前回の調査結果と比較すると、調整平均は 397 万円の大幅増加(前回調査 2,550 万円→今回調査 2,947 万円)となりました。コロナ禍の収束を見通せず、経済の先行きに対する不透明感が高まるなか、老後の生活資金に対して強い不安を感じている人が増えているのではないのでしょうか。

Q.仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか？
 (数値入力回答:___万円くらい)



仕事をリタイアする年齢までにあれば安心できる貯蓄額の調整平均を 20 代の調査結果(※3)と比較すると、20 代 2,322 万円、30 代 2,932 万円、40 代 2,961 万円と、20 代と比べ 30 代・40 代のほうが 600 万円以上高くなりました。

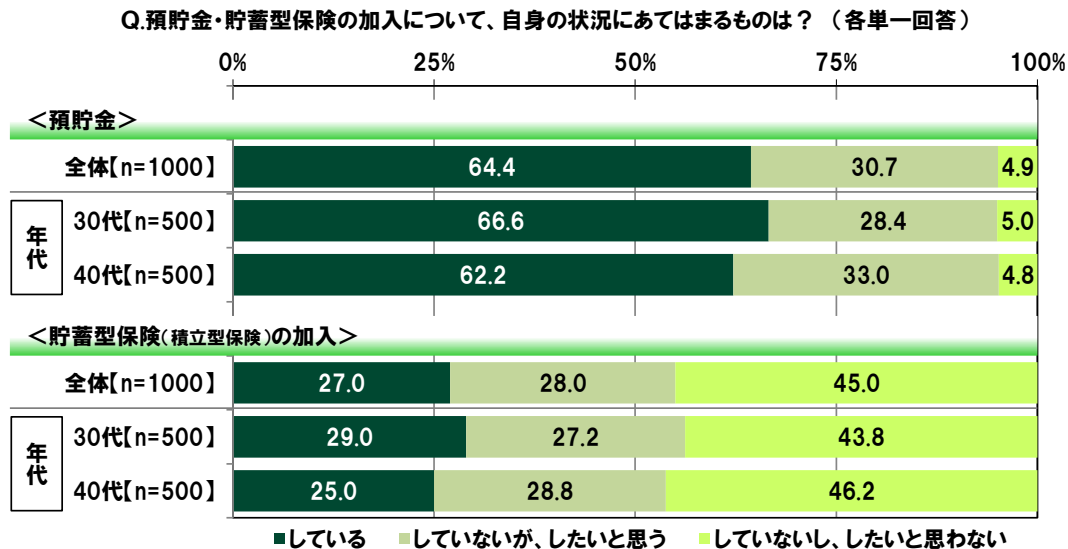
※3:SMBC コンシューマーファイナンス「20 代の金銭感覚についての意識調査 2022」より



≫ 30代・40代の毎月の貯蓄状況「預貯金をしている」64.4%、預貯金している金額は平均 42,270 円/月
「貯蓄型保険に加入している」27.0%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 20,476 円/月

全回答者(1,000名)に、預貯金の実践状況と貯蓄型保険の加入状況を聞いたところ、<預貯金>では、「している」が64.4%、「していないが、したいと思う」が30.7%となりました。

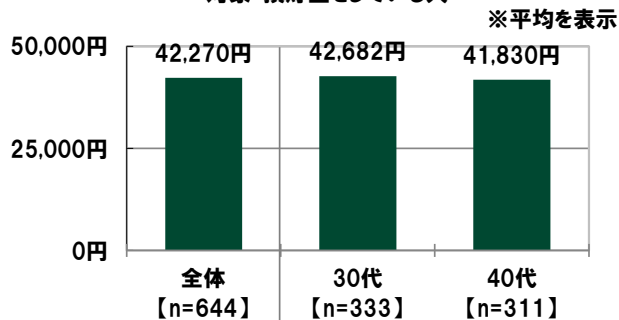
また、<貯蓄型保険(積立型保険)の加入>では「している」が27.0%、「していないが、したいと思う」が28.0%となりました。



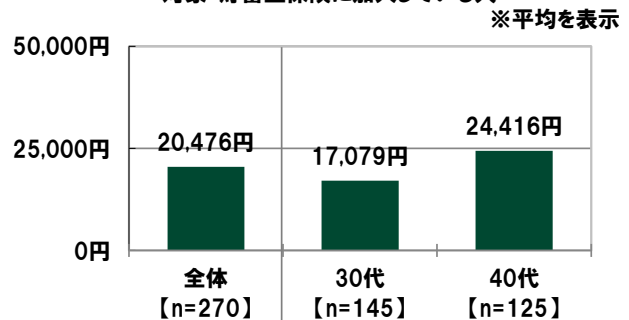
預貯金をしている人(644名)に、ひと月あたり、いくらくらい預貯金しているか聞いたところ、平均は42,270円で、年代別では30代42,682円、40代41,830円でした。

また、貯蓄型保険に加入している人(270名)に、ひと月あたり、いくらくらい貯蓄型保険にお金を払っているか聞いたところ、平均は20,476円で、年代別では30代17,079円、40代24,416円でした。

Q.ひと月あたり、いくらくらい預貯金しているか？
 （数値入力回答：ひと月あたり___円くらい）
 対象：預貯金をしている人



Q.ひと月あたり、いくらくらい貯蓄型保険にお金を払っているか？
 （数値入力回答：ひと月あたり___円くらい）
 対象：貯蓄型保険に加入している人



≫ 預貯金をする理由 TOP2 は「老後の生活費のため」「万が一のときの備えとして」
 30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」が高い傾向

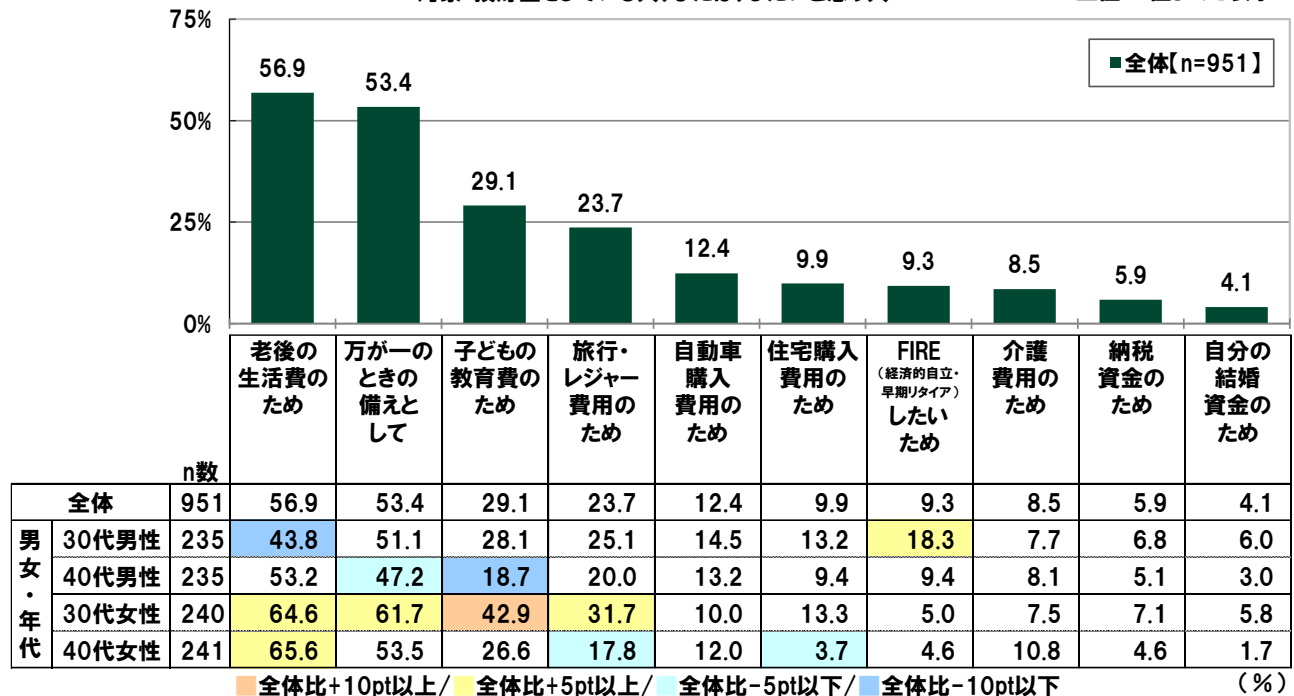
また、預貯金をしている人、または、したいと思う人(951名)に、預貯金をしている理由、または、したいと思う理由を聞いたところ、「老後の生活費のため」(56.9%)と「万が一のときの備えとして」(53.4%)が特に高くなり、「子どもの教育費のため」(29.1%)、「旅行・レジャー費用のため」(23.7%)、「自動車購入費用のため」(12.4%)、「住宅購入費用のため」(9.9%)が続きました。

男女・年代別にみると、30代女性では「万が一のときの備えとして」(61.7%)と「子どもの教育費のため」(42.9%)、「旅行・レジャー費用のため」(31.7%)、30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」(18.3%)が他の層と比べて高くなりました。

Q.預貯金をしている理由、または、したいと思う理由は？（複数回答）

対象：預貯金をしている人、または、したいと思う人

※上位10位までを表示



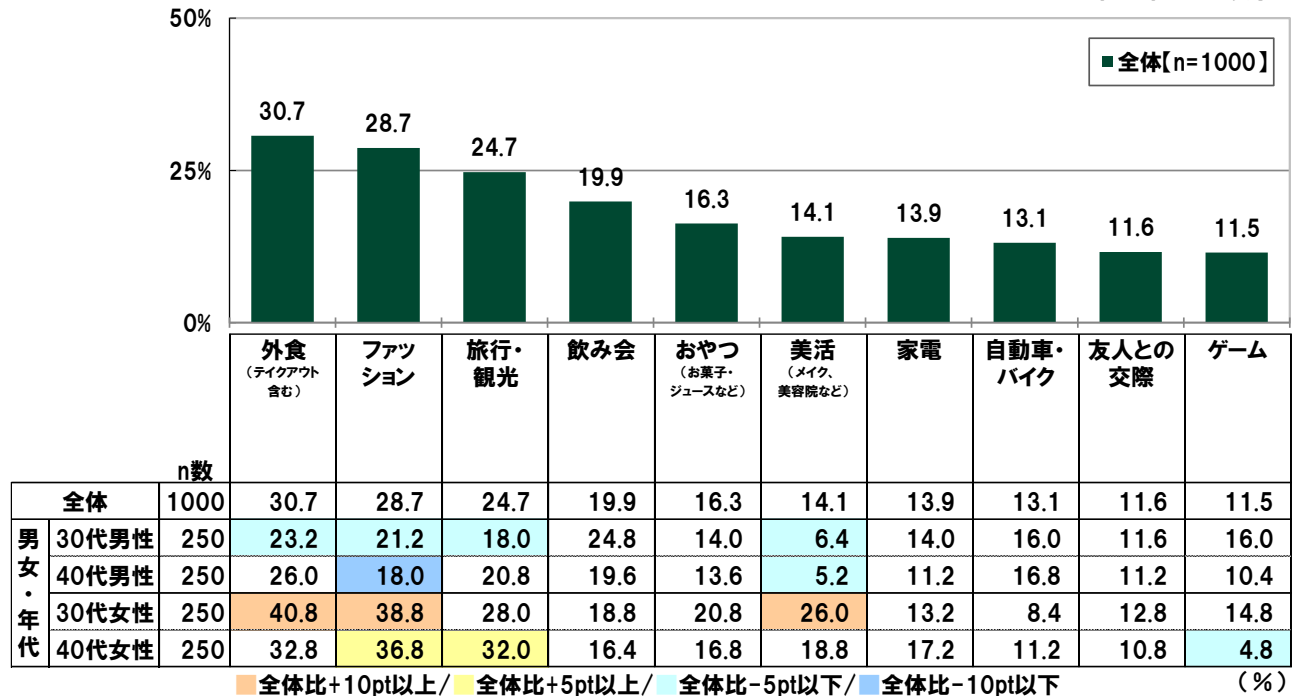
>> 貯蓄のために我慢することがあるもの TOP5 は「**外出**」「**ファッション**」「**旅行・観光**」「**飲み会**」「**おやつ**」
 30代女性では4人に1人が「**美活**」と回答

全回答者(1,000名)に、貯蓄のために我慢することがあるものを聞いたところ、「**外出(テイクアウト含む)**」(30.7%)が最も高くなり、「**ファッション**」(28.7%)、「**旅行・観光**」(24.7%)、「**飲み会**」(19.9%)、「**おやつ(お菓子・ジュースなど)**」(16.3%)が続きました。

男女・年代別にみると、30代女性では「**外出(テイクアウト含む)**」(40.8%)や「**ファッション**」(38.8%)、「**美活(メイク、美容院など)**」(26.0%)が全体と比べて10ポイント以上高くなりました。

Q.貯蓄のために我慢することがあるものは？（複数回答）

※上位10位までを表示



【30代・40代の消費意識と消費実態】

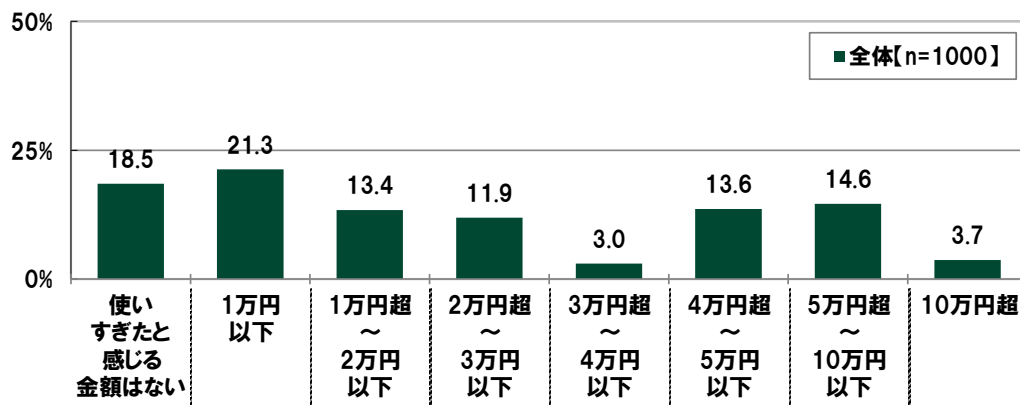
≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額はいくら？ 使いすぎたと感じる金額がある人の平均は43,815円/月

消費意識や消費実態について質問しました。

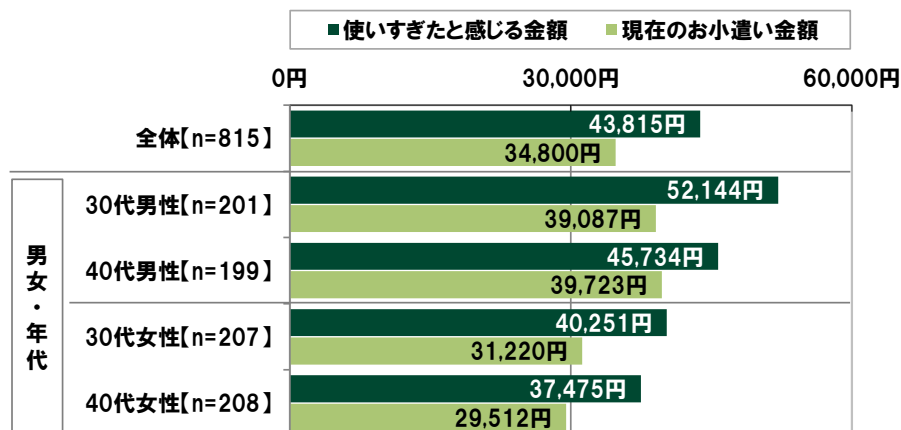
全回答者(1,000名)に、自分が自由に使えるお金(お小遣い)を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか聞いたところ、「1万円以下」(21.3%)や「5万円超～10万円以下」(14.6%)、「4万円超～5万円以下」(13.6%)などに回答が分散し、使いすぎたと感じる金額がある人(815名)の平均は43,815円でした。

使いすぎたと感じる金額がある人(815名)について、使いすぎたと感じる金額の平均を男女・年代別にみると、30代男性(52,144円)が突出して高くなり、40代男性(45,734円)、30代女性(40,251円)、40代女性(37,475円)が続きました。また、使いすぎたと感じる金額の平均と現在のお小遣い金額の平均との差額は、30代男性では13,057円差となり、40代男性(6,011円差)や30代・40代女性(30代9,031円差、40代7,963円差)よりも大きくなりました。30代男性と比べると、40代男性や30代・40代女性のほうが、より堅実な金銭感覚を持っていることがうかがえる結果となりました。

Q.自分が自由に使えるお金を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか？
(数値入力回答:1ヶ月間で___円くらい)



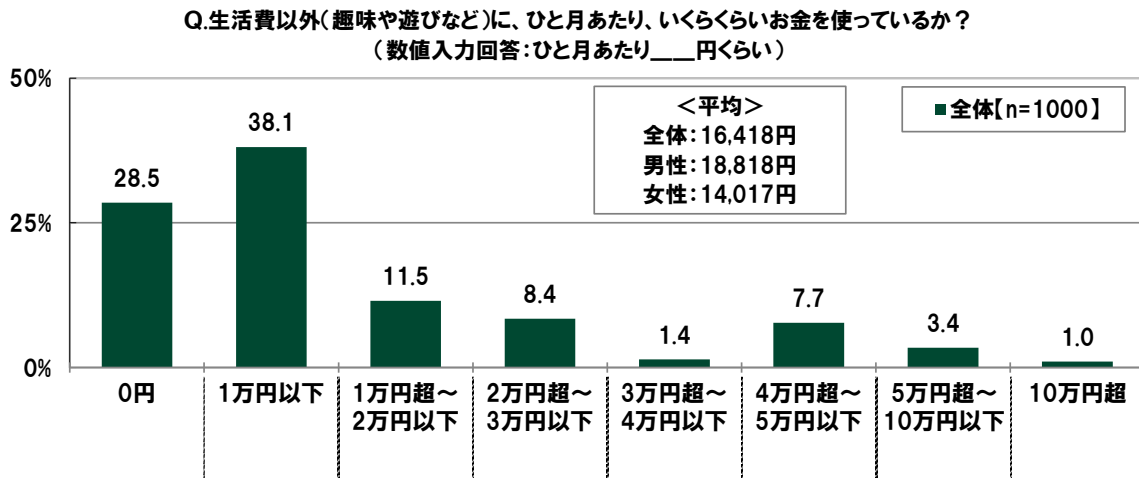
自分が自由に使えるお金を1ヶ月間に使ったときに使いすぎたと感じる金額の平均と現在のお小遣い金額の平均の比較
対象:使いすぎたと感じる金額がある人



- ▶ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額は平均 16,418 円/月
- ▶ お金をかけたいと思うこと TOP5 は「旅行・観光」「子どもの教育」「外食」「住まい」「ファッション」

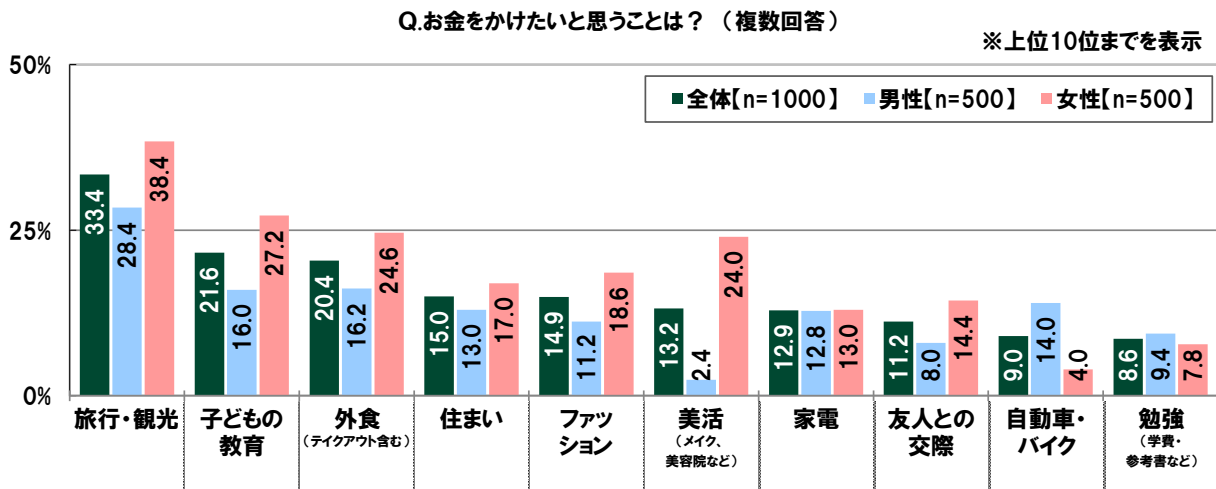
全回答者(1,000名)に、生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか聞いたところ、「1万円以下」(38.1%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(11.5%)にも回答がみられ、平均は16,418円でした。また、「0円」は28.5%となりました。

男女別にみると、生活費以外に使っている金額の平均は、男性18,818円、女性14,017円でした。



また、お金をかけたいと思うことを聞いたところ、「旅行・観光」(33.4%)が最も高くなり、「子どもの教育」(21.6%)、「外食(テイクアウト含む)」(20.4%)、「住まい」(15.0%)、「ファッション」(14.9%)が続きました。

男女別にみると、男性では2位「外食(テイクアウト含む)」(16.2%)、3位「子どもの教育」(16.0%)、4位「自動車・バイク」(14.0%)、5位「住まい」(13.0%)、女性では2位「子どもの教育」(27.2%)、3位「外食(テイクアウト含む)」(24.6%)、4位「美活(メイク、美容院など)」(24.0%)、5位「ファッション」(18.6%)でした。



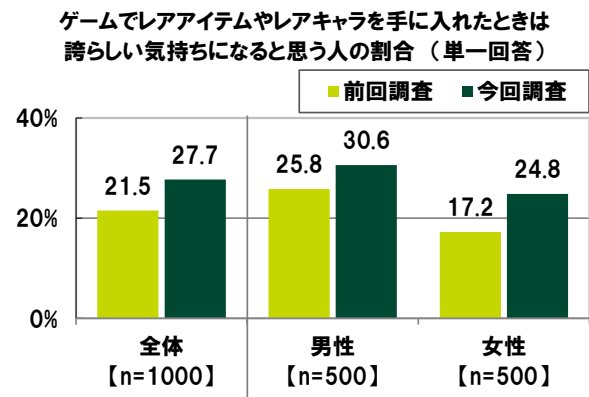
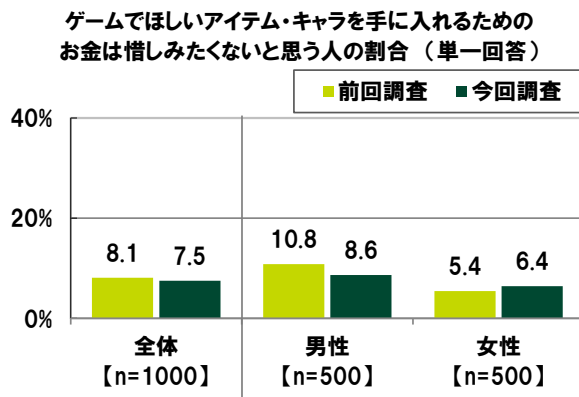
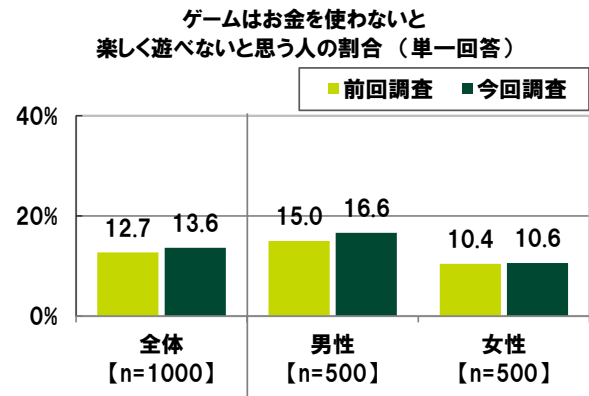
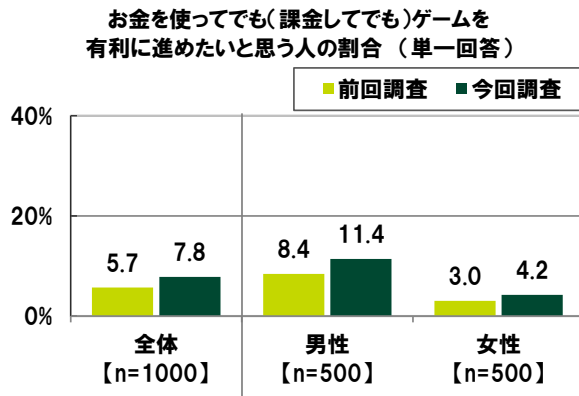
≫ 30代・40代のゲーム課金に対する意識

「お金を使わないと楽しく遊べない」13.6%、「レアアイテム・キャラを入手すると誇らしい」27.7%

全回答者(1,000名)に、ゲーム消費について質問しました。

お金を使ってゲームをすることについて聞いたところ、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>では「そう思う」は7.8%、<お金を使わないと楽しく遊べない>では「そう思う」は13.6%となりました。

アイテムやキャラクターの入手について聞いたところ、<ほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくない>では「そう思う」は7.5%、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>では「そう思う」は27.7%となりました。

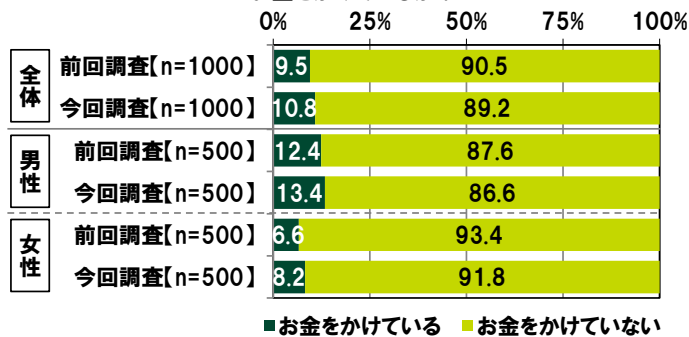


- ▶ **30代・40代のゲーム課金実態「ゲーム課金をしている」10.8%**
 かけている金額は平均 6,336 円/月、前回調査から 2,277 円の大幅増加
- ▶ **「ゲーム課金に後悔したことがある」18.2%、30代男性では 30.0%**

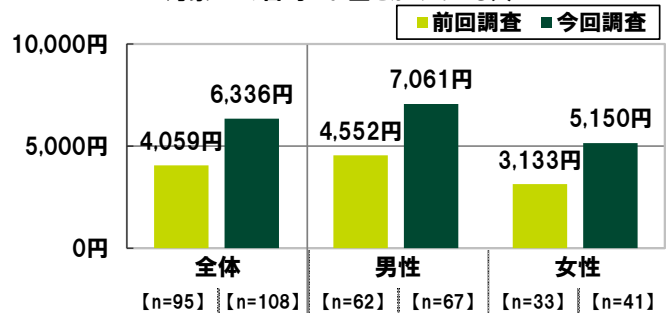
また、ゲーム課金実態について聞いたところ、<ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)>にお金をかけている人の割合は 10.8%で、それらの人がひと月にかけている金額の平均は 6,336 円でした。

前回の調査結果と比較すると、かけている金額の平均は、全体では 2,277 円増加(前回調査 4,059 円→今回調査 6,336 円)、男性では 2,509 円増加(前回調査 4,552 円→今回調査 7,061 円)、女性では 2,017 円増加(前回調査 3,133 円→今回調査 5,150 円)しました。コロナ禍のおうち時間をより充実したものとするためか、高額課金をするゲーム利用者が増えている実態がうかがえる結果となりました。

Q.ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にお金をかけているか？



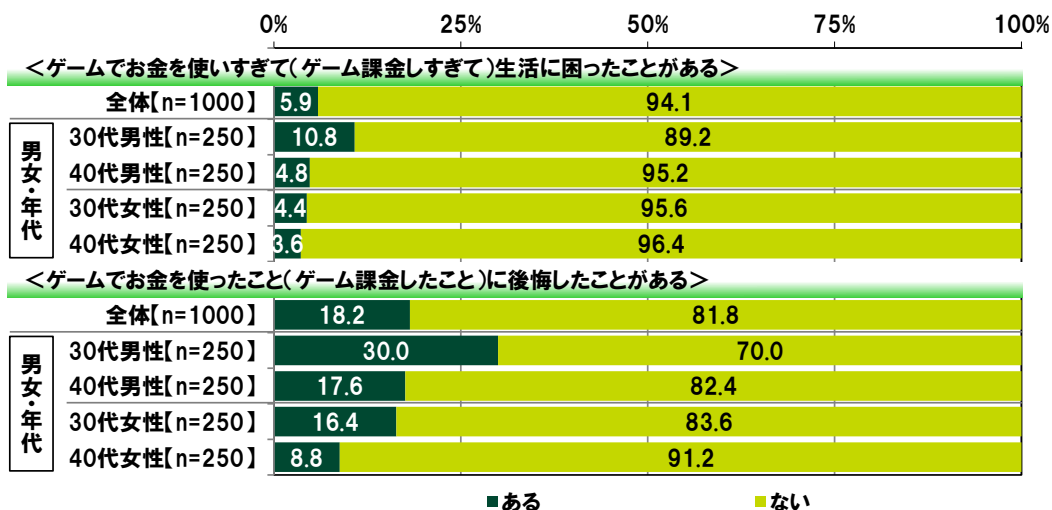
ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にかけている金額の平均 (数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



さらに、ゲーム課金で失敗をした経験について聞いたところ、<ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある>では「ある」は 5.9%、<ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある>では「ある」は 18.2%となりました。

経験がある人の割合を男女・年代別にみると、30代男性では<ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある>が 10.8%、<ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある>が 30.0%と、他の層と比べて高くなりました。

Q.ゲーム課金に関する以下の経験があるか、ないか？ (各単一回答)

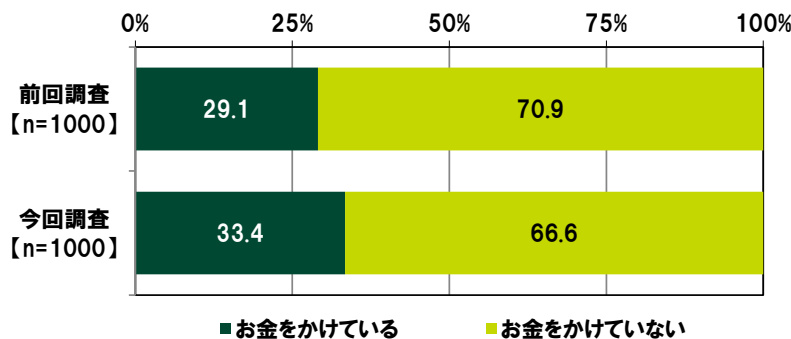
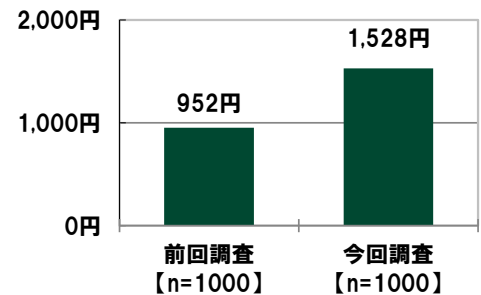


- ≫ サブスクサービスにお金をかけている 30代・40代は 33.4%
 かけている金額の全体平均は 1,528 円/月、前回調査から 576 円の大幅増加
 現在利用しているサービス「動画配信」がダントツ
- ≫ サブスクサービスを利用する理由 1位「気軽に商品・サービスが利用できるから」

全回答者(1,000名)に、モノを持たない消費の一つであるサブスクリプションサービスについて質問しました。月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 33.4%で、ひと月あたりにかけている金額の全体平均は 1,528 円でした。

前回の調査結果と比較すると、実際にお金をかけている人の割合は 4.3 ポイントの上昇(前回調査 29.1%→今回調査 33.4%)となり、かけている金額の全体平均は 576 円の増加(前回調査 952 円→今回調査 1,528 円)となりました。サブスク事業者の増加やサブスクサービスの多様化、コロナ禍によるおうち時間の増加を受け、30代・40代のサブスク消費はこの一年で大幅に拡大しているようです。

Q.月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか？

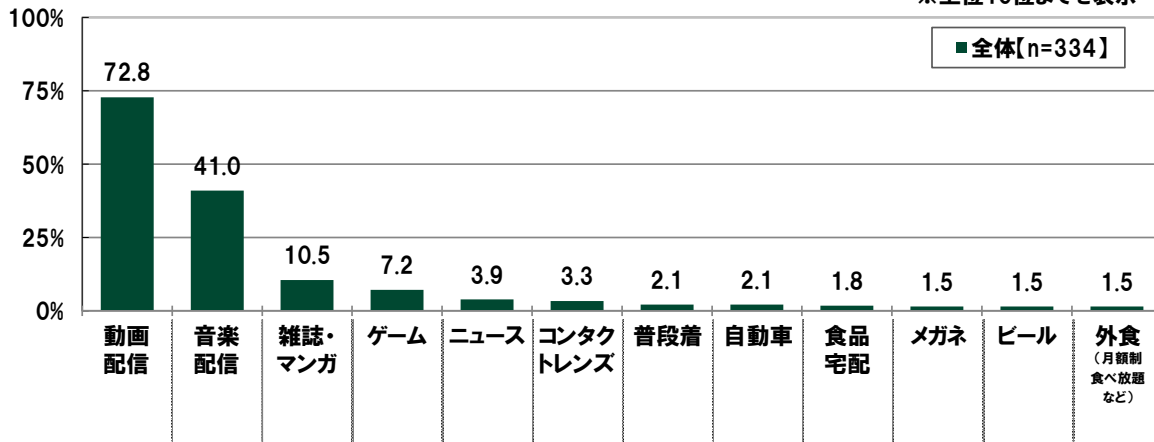

 月額・定額制で使い放題のサービスにかけている金額の平均
 (数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)


月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人(334名)に、現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(72.8%)が突出して高くなり、「音楽配信」(41.0%)、「雑誌・マンガ」(10.5%)、「ゲーム」(7.2%)、「ニュース」(3.9%)が続きました。

Q.現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスは？(複数回答)

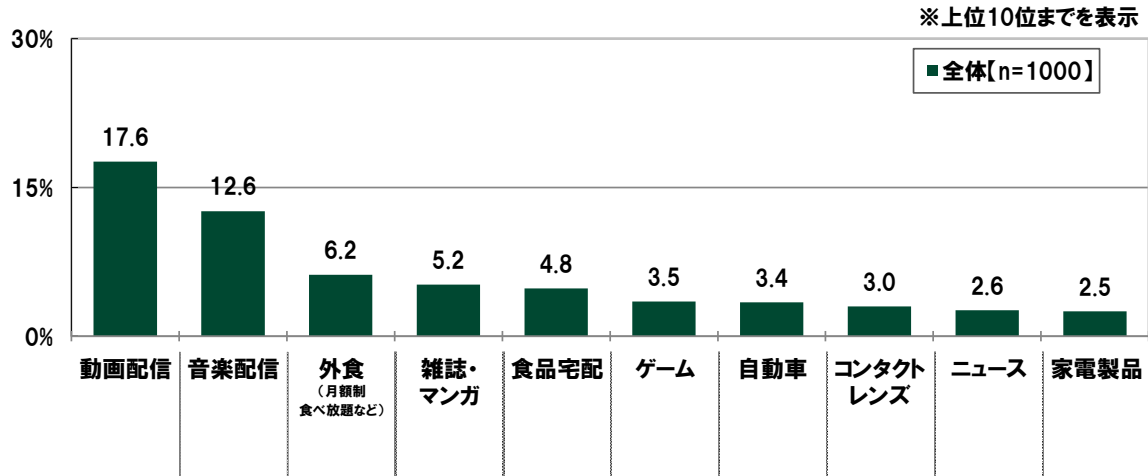
対象:月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人

※上位10位までを表示



また、全回答者(1,000名)に、利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(17.6%)が最も高くなり、「音楽配信」(12.6%)、「外食(月額制食べ放題など)」(6.2%)、「雑誌・マンガ」(5.2%)、「食品宅配」(4.8%)が続きました。

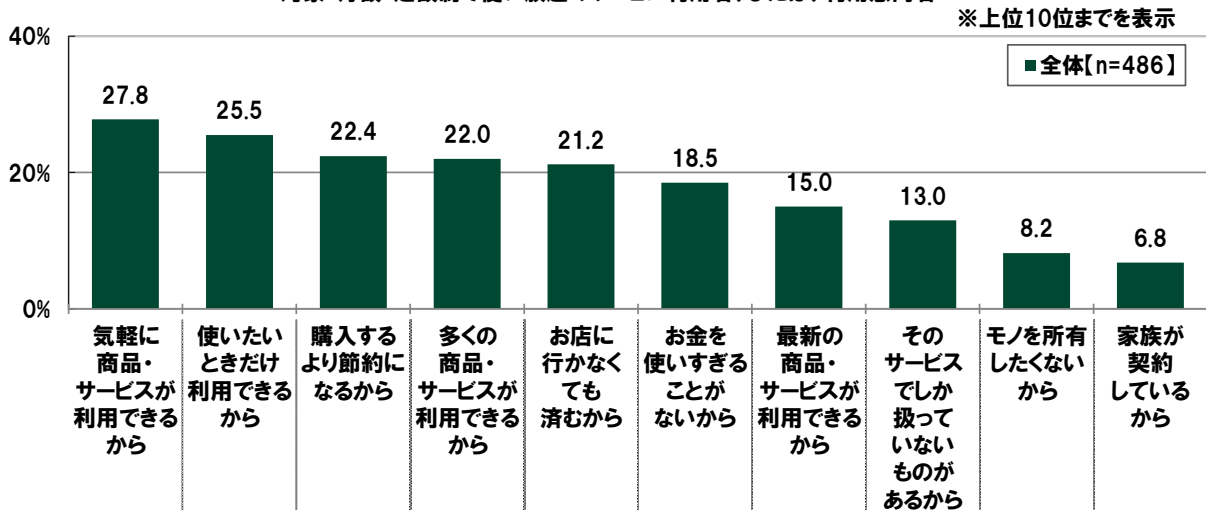
Q.利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスは？(複数回答)



さらに、月額・定額制で使い放題のサービス利用者、または、利用意向者(486名)に、サービスを利用している、または、利用したいと思う理由を聞いたところ、「気軽に商品・サービスが利用できるから」(27.8%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「使いたいときだけ利用できるから」(25.5%)、「購入するより節約になるから」(22.4%)、「多くの商品・サービスが利用できるから」(22.0%)、「お店に行かなくても済むから」(21.2%)、「お金を使いすぎることがないから」(18.5%)、「最新の商品・サービスが利用できるから」(15.0%)、「そのサービスでしか扱っていないものがあるから」(13.0%)、「モノを所有したくないから」(8.2%)、「家族が契約しているから」(6.8%)でした。

Q.月額・定額制で使い放題のサービスを利用している、または、利用したいと思う理由は？(複数回答)

対象:月額・定額制で使い放題のサービス利用者、または、利用意向者

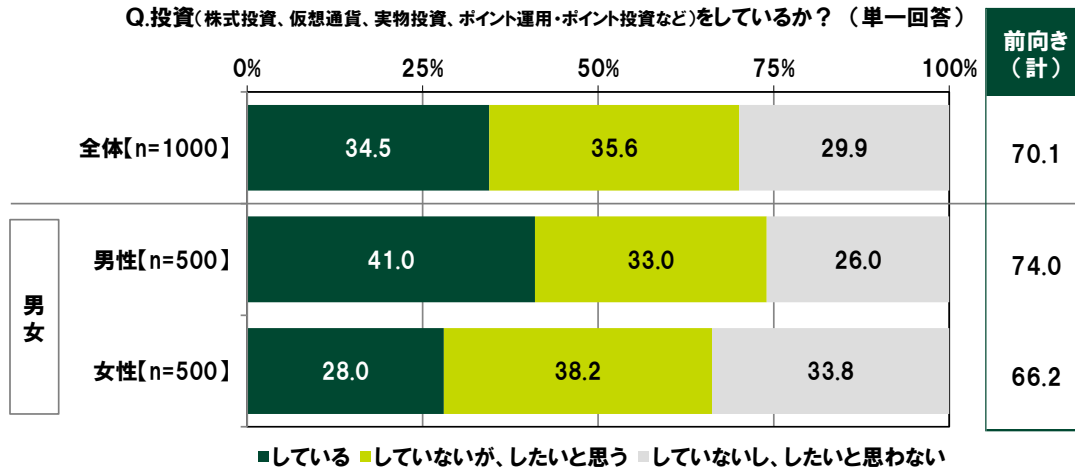


- ≫ 「投資をしている」30代・40代の34.5%、投資に回している金額の平均は36,964円/月、投資対象1位は「投資信託」
- ≫ 投資をする理由TOP3は「老後の生活費のため」「万が一のときの備えとして」「小遣い稼ぎのため」
30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」、30代女性では「子どもの教育費のため」が高い傾向

投資(株式投資、仮想通貨、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)について質問しました。

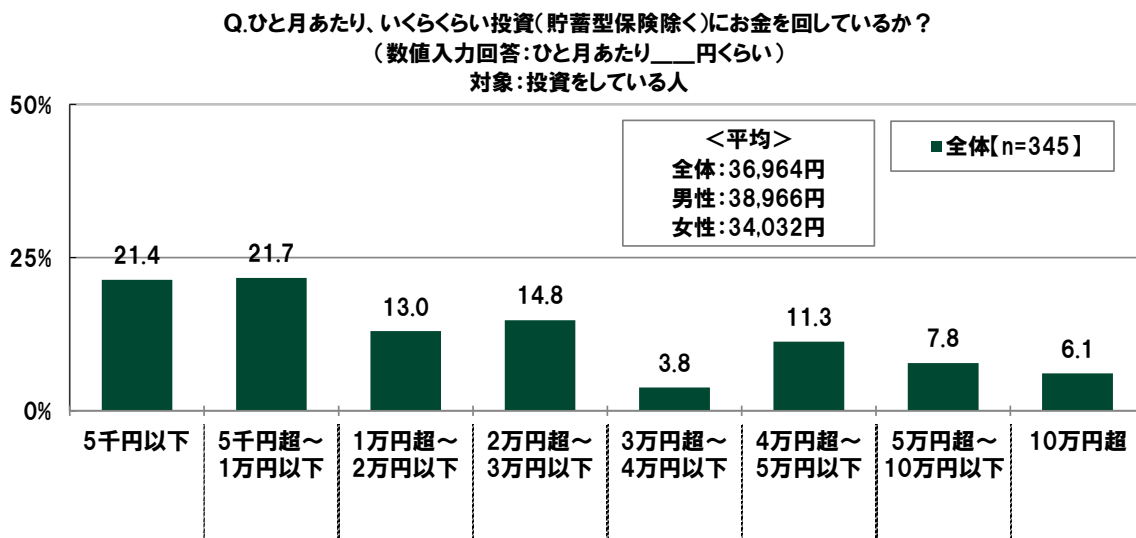
全回答者(1,000名)に、投資をしているか聞いたところ、「している」は34.5%、「していないが、したいと思う」は35.6%で、合計した『前向き(計)』は70.1%となりました。

投資をしている人の割合は、男性では41.0%と、女性(28.0%)と比べて13.0ポイント高くなりました。

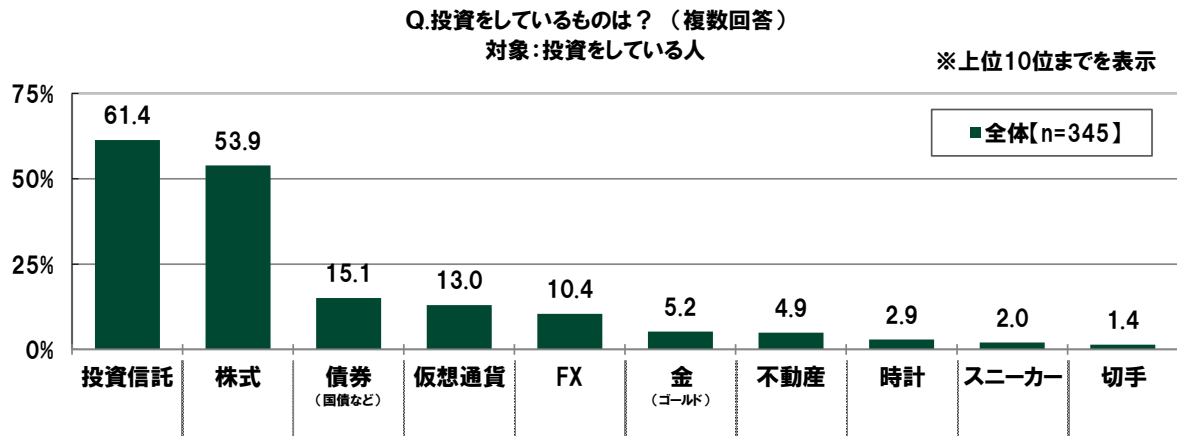


投資をしている人(345名)に、ひと月あたり、いくらくらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか聞いたところ、「5千円以下」(21.4%)と「5千円超～1万円以下」(21.7%)に多くの回答が集まったほか、「2万円超～3万円以下」(14.8%)や「1万円超～2万円以下」(13.0%)、「4万円超～5万円以下」(11.3%)にも回答がみられ、平均は36,964円でした。

男女別にみると、ひと月あたりに投資に回している金額の平均は、男性では38,966円と、女性(34,032円)と比べて4,934円高くなりました。

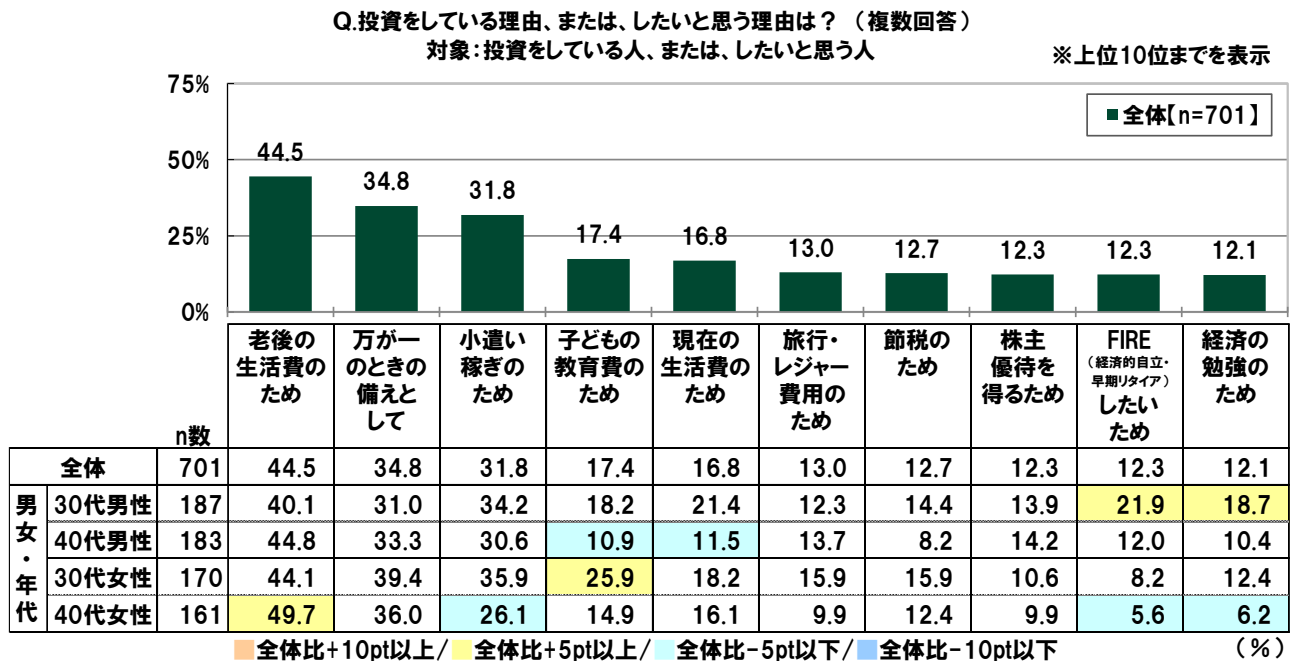


また、投資をしているものを聞いたところ、「投資信託」(61.4%)が最も高くなり、「株式」(53.9%)、「債券(国債など)」(15.1%)、「仮想通貨」(13.0%)、「FX」(10.4%)が続きました。



投資をしている人、または、投資をしたいと思う人(701名)に、投資をしている理由、または、したいと思う理由を聞いたところ、「老後の生活費のため」(44.5%)が最も高くなりました。ゆとりある老後を送るためには、投資による資産形成が必要だと感じている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「万が一のときの備えとして」(34.8%)、「小遣い稼ぎのため」(31.8%)、「子どもの教育費のため」(17.4%)、「現在の生活費のため」(16.8%)でした。

男女・年代別にみると、30代男性では「FIRE(経済的自立・早期リタイア)したいため」(21.9%)や「経済の勉強のため」(18.7%)、30代女性では「子どもの教育費のため」(25.9%)が他の層と比べて高くなりました。



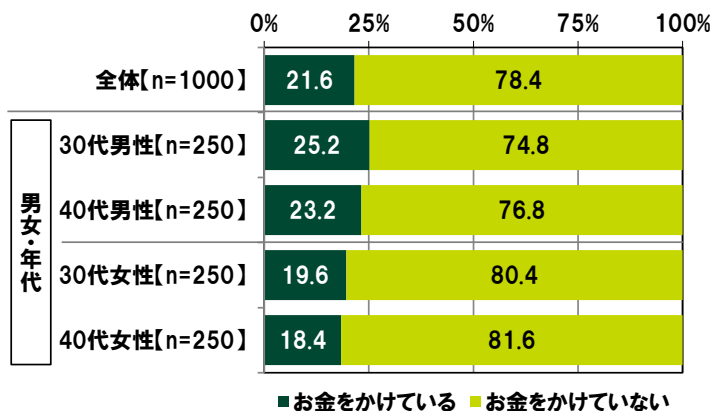
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」30代・40代の21.6%、かけている金額は平均8,192円/月
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」30代・40代の52.9%、かけている金額は平均8,519円/月

全回答者(1,000名)に、自己投資や自分磨きについて質問しました。

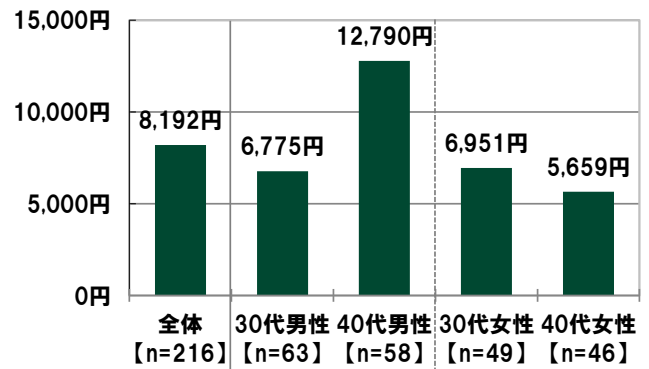
実際に自己投資にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は21.6%で、それらの人がひと月にかけている金額の平均は8,192円でした。

男女・年代別にみると、お金をかけている人の割合が最も高くなったのは30代男性(25.2%)となり、ひと月にかけている金額の平均が最も高くなったのは40代男性(12,790円)でした。

Q.自己投資のためにお金をかけているか？



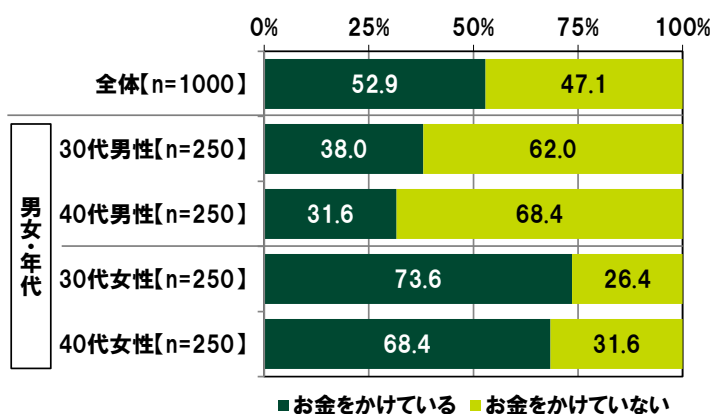
自己投資にかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



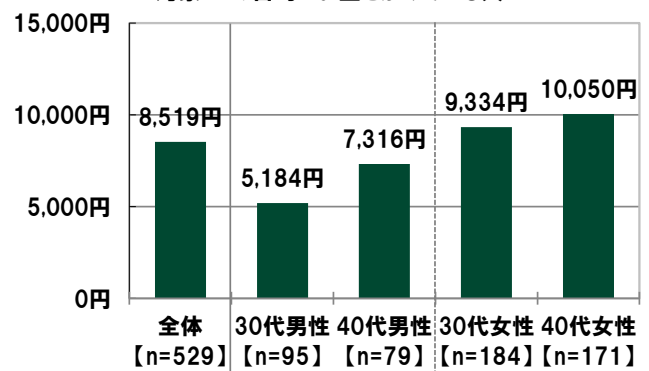
実際に自分磨きにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は52.9%で、それらの人がひと月にかけている金額の平均は8,519円でした。

男女・年代別にみると、お金をかけている人の割合が最も高くなったのは30代女性(73.6%)となり、ひと月にかけている金額の平均が最も高くなったのは40代女性(10,050円)でした。

Q.自分磨きのためにお金をかけているか？



自分磨きにかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人

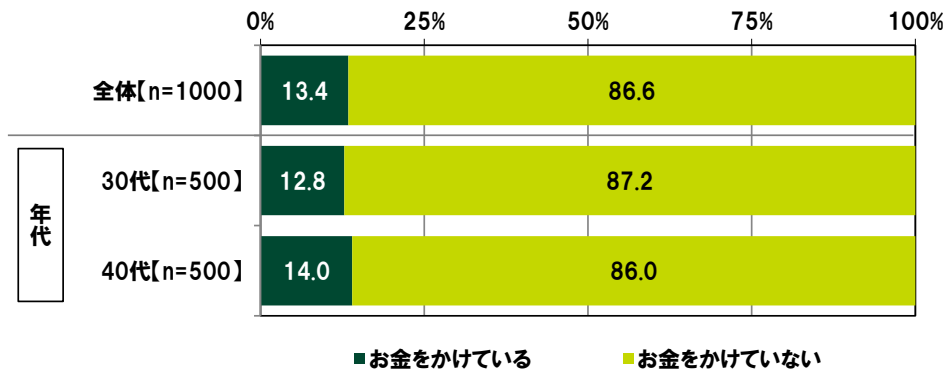


≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」30代・40代の13.4%、かけているお金は平均4,801円/月

全回答者(1,000名)に、社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は13.4%となりました。

年代別にみると、お金をかけている人の割合は、30代12.8%、40代14.0%となりました。

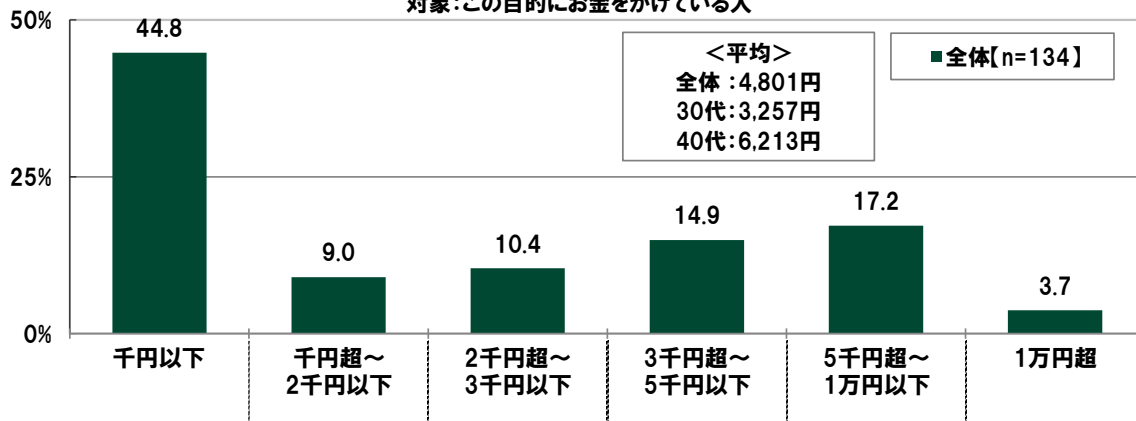
Q.社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？



お金をかけている人(134名)に、ひと月あたり、いくらくらいお金をかけているか聞いたところ、「千円以下」(44.8%)に最も多くの回答が集まったほか、「5千円超～1万円以下」(17.2%)や「3千円超～5千円以下」(14.9%)にも回答がみられ、平均は4,801円でした。

年代別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、40代では6,213円と、30代(3,257円)と比べて2,956円高くなりました。

Q.ひと月あたり、いくらくらい社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？(数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
 対象:この目的にお金をかけている人



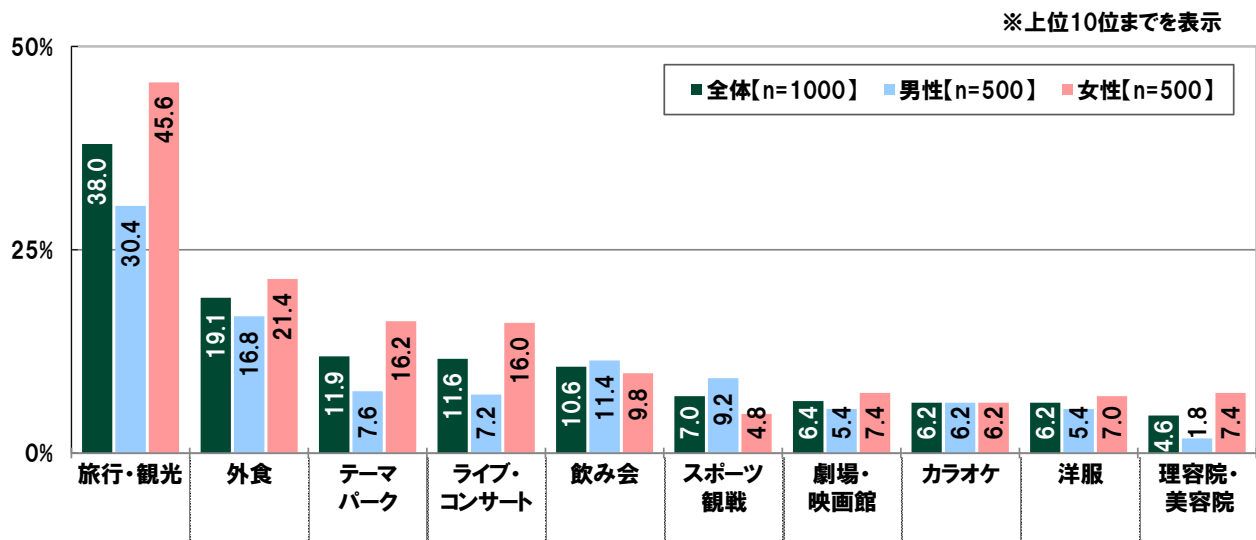
≫ **コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいもの 女性の約半数が「旅行・観光」と回答**

コロナ禍が落ち着いたら、どのようなことにお金をかけて楽しみたいと考えている人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものを聞いたところ、「旅行・観光」(38.0%)が突出して高くなりました。コロナ禍が落ち着いたら、リフレッシュのための旅行や親しい人との旅行を思う存分楽しみたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「外食」(19.1%)、「テーマパーク」(11.9%)、「ライブ・コンサート」(11.6%)、「飲み会」(10.6%)、「飲み会」(10.6%)でした。

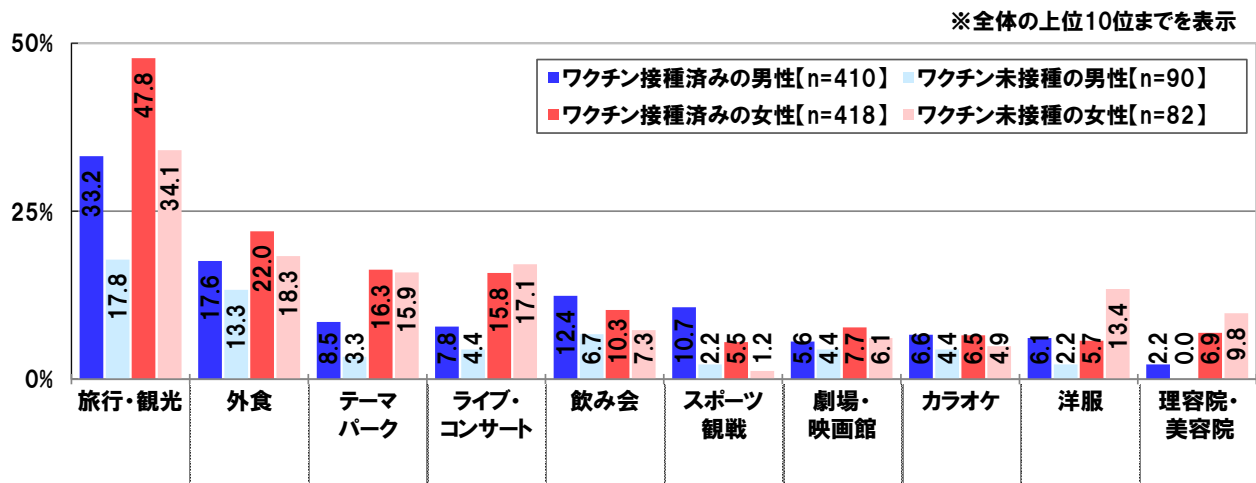
男女別にみると、女性では「旅行・観光」が45.6%と、男性(30.4%)と比べて15.2ポイント高くなりました。

Q.コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものは？（複数回答）



新型コロナウイルスのワクチン接種状況別にみると、ワクチン接種済みの女性では「旅行・観光」が47.8%と、他の層と比べて突出して高くなりました。

Q.コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものは？（複数回答）

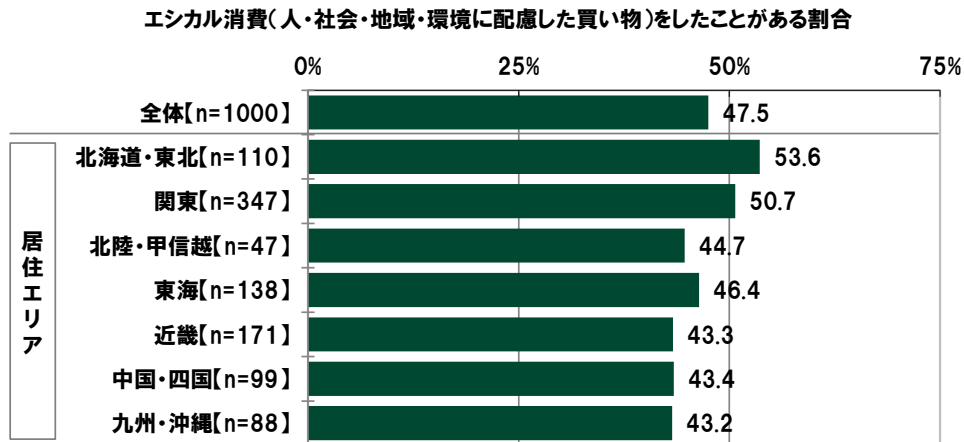


- ≫ 「エシカル消費をしたことがある」30代・40代の47.5%、北海道・東北エリアでは53.6%
- ≫ エシカル消費として積極的に買いたいものTOP3は「省エネ商品」「地産地消になる商品」「リサイクル素材を使った商品」

続いて、エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)について質問しました。

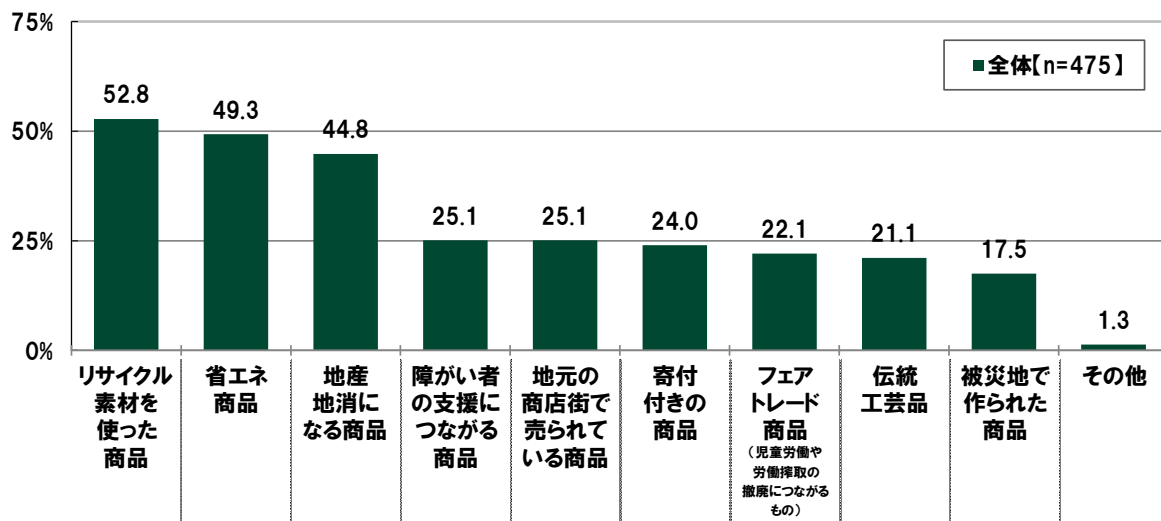
全回答者(1,000名)に、エシカル消費の経験を聞いたところ、エシカル消費をしたことがある人の割合は47.5%でした。

エシカル消費をしたことがある人の割合を居住エリア別にみると、北海道・東北(53.6%)と関東(50.7%)では半数を超えました。



エシカル消費をしたことがある人(475名)に、エシカル消費として買ったことがあるものを聞いたところ、「リサイクル素材を使った商品」(52.8%)が最も高くなり、「省エネ商品」(49.3%)、「地産地消になる商品」(44.8%)、「障がい者の支援につながる商品」「地元の商店街で売られている商品」(いずれも25.1%)が続きました。

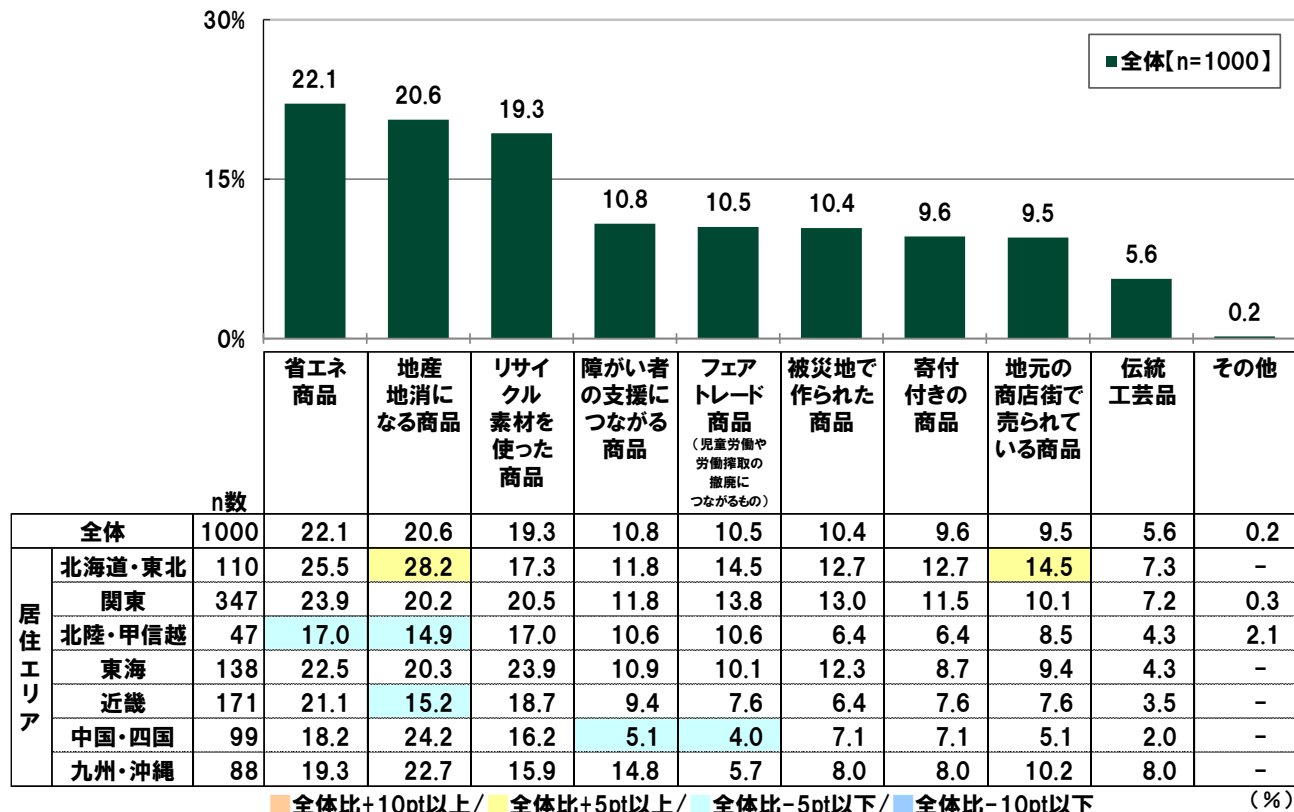
Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として買ったことがあるものは？(複数回答)
対象:エシカル消費をしたことがある人



また、全回答者(1,000名)に、エシカル消費として積極的に買いたいものを聞いたところ、「省エネ商品」(22.1%)が最も高くなり、「地産地消になる商品」(20.6%)、「リサイクル素材を使った商品」(19.3%)、「障がい者の支援につながる商品」(10.8%)、「フェアトレード商品(児童労働や労働搾取の撤廃につながるもの)」(10.5%)が続きました。

居住エリア別にみると、北海道・東北では「地産地消になる商品」(28.2%)と「地元の商店街で売られている商品」(14.5%)が他のエリアと比べて高くなりました。

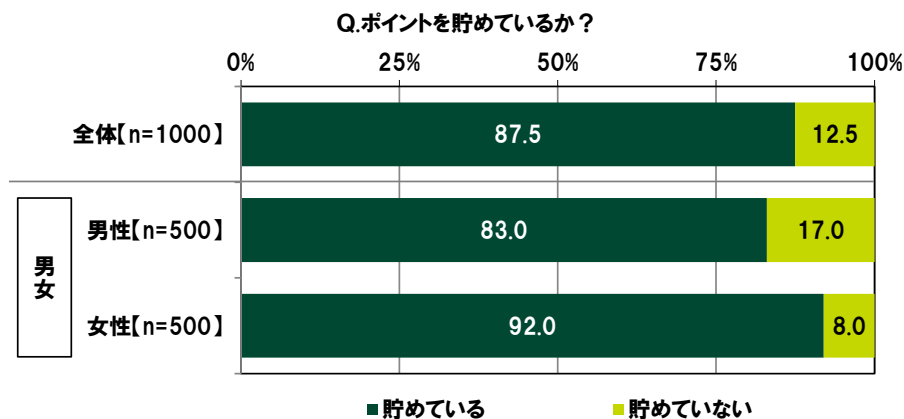
Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として積極的に買いたいものは？(複数回答)



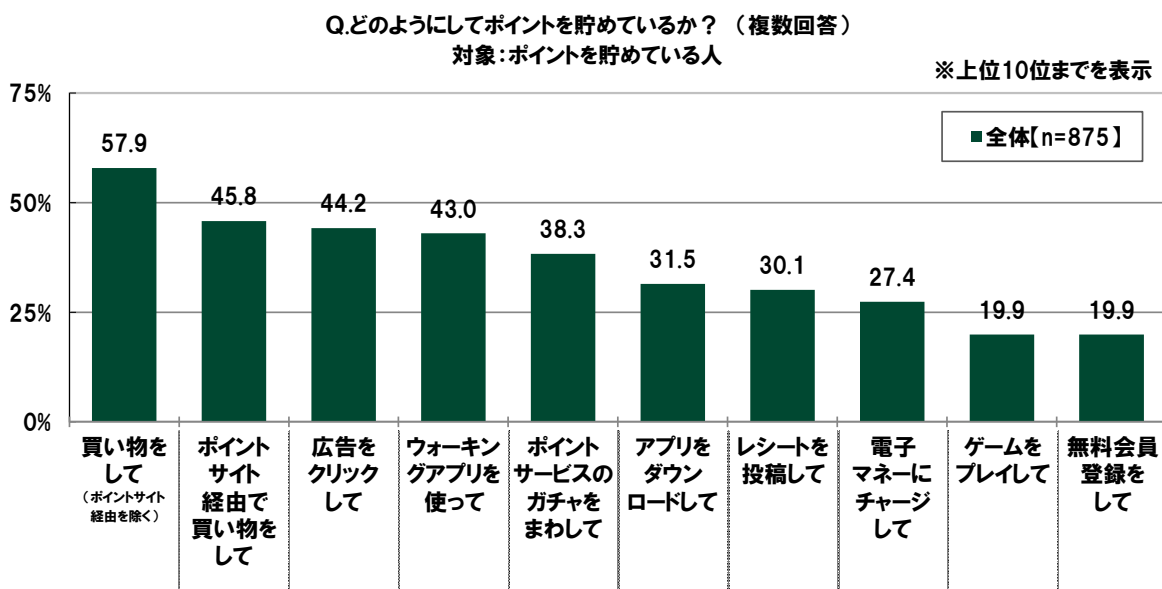
≫ 「ポイント貯めている」30代・40代の87.5%、女性では92.0%
 ポイントの貯め方 TOP2は「買い物」「ポイントサイト経由で買い物」、
 「ウォーキングアプリ」「アプリダウンロード」「レシート投稿」「電子マネーチャージ」がTOP10にランクイン
 ひと月あたりに何円分のポイントを貯めている？ 平均は3,078円

全回答者(1,000名)に、ポイント(貯めると買い物の際に利用できるポイントのこと)を貯めているか聞いたところ、
 「貯めている」は87.5%、「貯めていない」は12.5%となりました。30代・40代の大多数は、普段の生活で“ポイ活”
 をしているようです。

男女別にみると、ポイントを貯めている人の割合は、女性では92.0%と、男性(83.0%)と比べて9.0ポイント高くな
 りました。



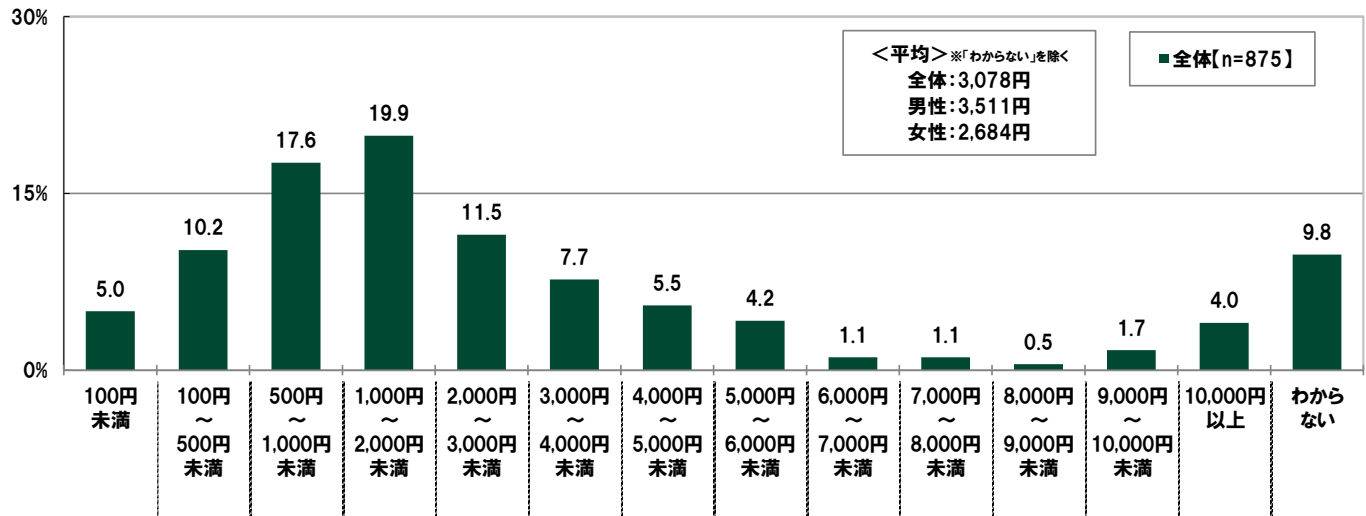
ポイントを貯めている人(875名)に、どのようにしてポイントを貯めているか聞いたところ、「買い物をして(ポイント
 サイト経由を除く)」(57.9%)が最も高くなり、「ポイントサイト経由で買い物をして」(45.8%)、「広告をクリックして」
 (44.2%)、「ウォーキングアプリを使って」(43.0%)、「ポイントサービスのガチャをまわして」(38.3%)、「アプリをダウ
 ンロードして」(31.5%)、「レシートを投稿して」(30.1%)、「電子マネーにチャージして」(27.4%)が続きました。



また、ひと月あたり、お金に換算してどのくらいポイントを貯めているか聞いたところ、「1,000 円～2,000 円未満」(19.9%)や「500 円～1,000 円未満」(17.6%)、「2,000 円～3,000 円未満」(11.5%)に回答が集まり、「わからない」を除いた平均は 3,078 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりに貯めているポイントをお金に換算した平均は、男性では 3,511 円と、女性(2,684 円)と比べて 827 円高くなりました。

Q.ひと月あたり、お金に換算してどのくらいポイントを貯めているか？（単一回答）
対象：ポイントを貯めている人



【ライフイベントと収入事情】

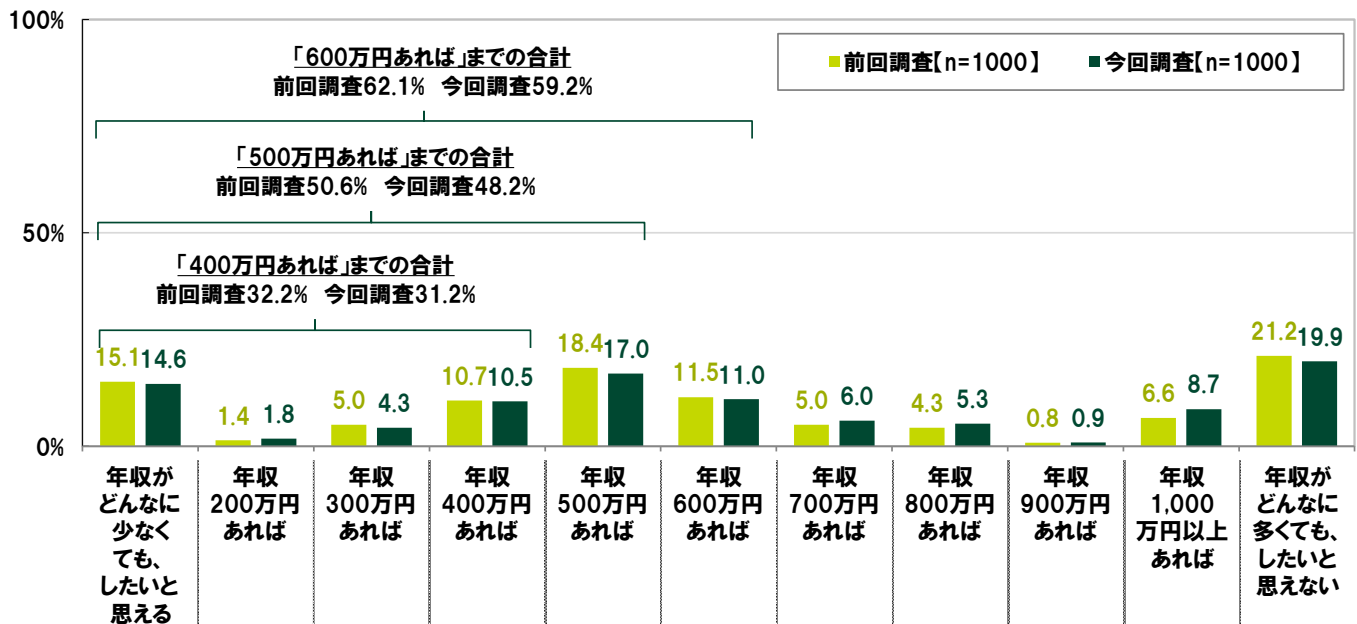
- 30代・40代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収600万円」、前回調査からハードルが上昇
- 30代・40代の5人に1人が「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」と回答

ライフイベントと年収の関係について質問しました。

全回答者(1,000名)に、結婚しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収400万円以下でしようと思える割合(「年収400万円あれば」までの合計)は31.2%、年収500万円以下でしようと思える割合(「年収500万円あれば」までの合計)は48.2%、年収600万円以下でしようと思える割合(「年収600万円あれば」までの合計)は59.2%となりました。30代・40代の半数以上が結婚をイメージできるのは年収600万円でした。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」は19.9%となりました。

前回の調査結果と比較すると、半数以上が結婚しようと思えるのは前回調査では年収500万円(50.6%)だったのに対し、今回調査では年収600万円(59.2%)と、結婚へのハードルが上昇しました。

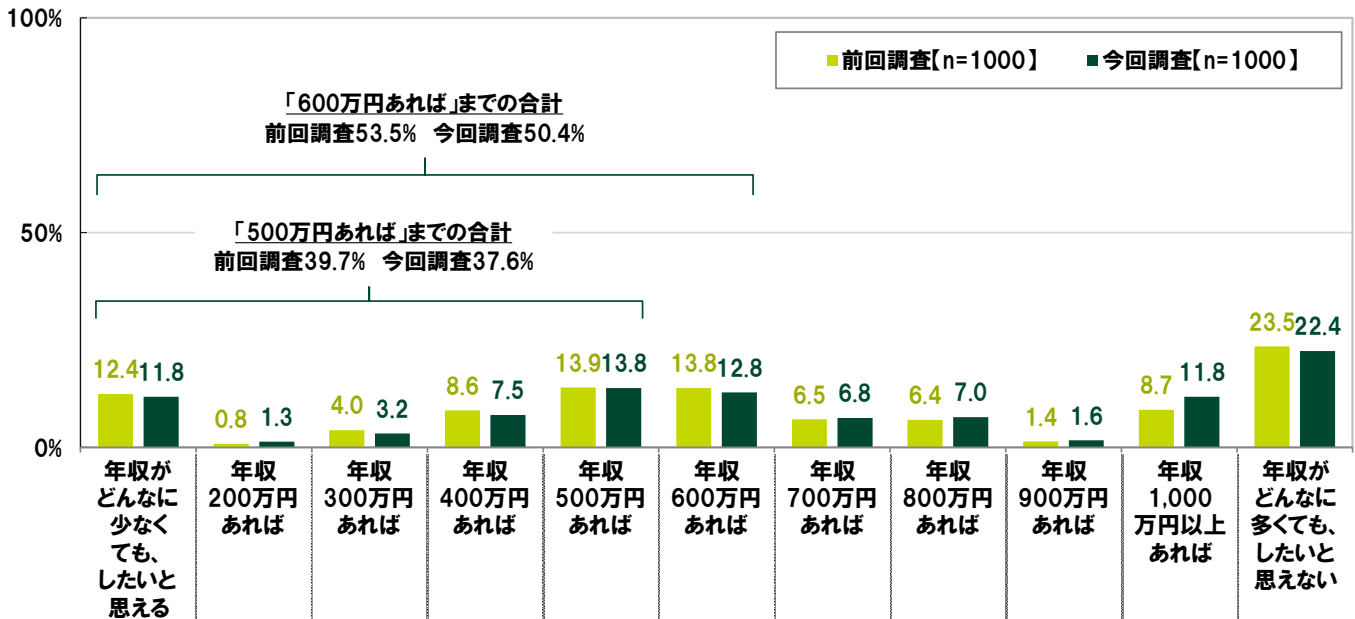
Q.結婚しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



>> 30代・40代の半数以上が1人目の出産・子育てに前向きになれるのは「年収600万円」

次に、出産・子育て(1人)しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収500万円でしようと思える割合は37.6%、年収600万円でしようと思える割合は50.4%となり、30代・40代の半数以上が出産・子育てをイメージできるのは結婚と同様に年収600万円でした。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」は22.4%となりました。

Q.出産・子育て(1人)しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)

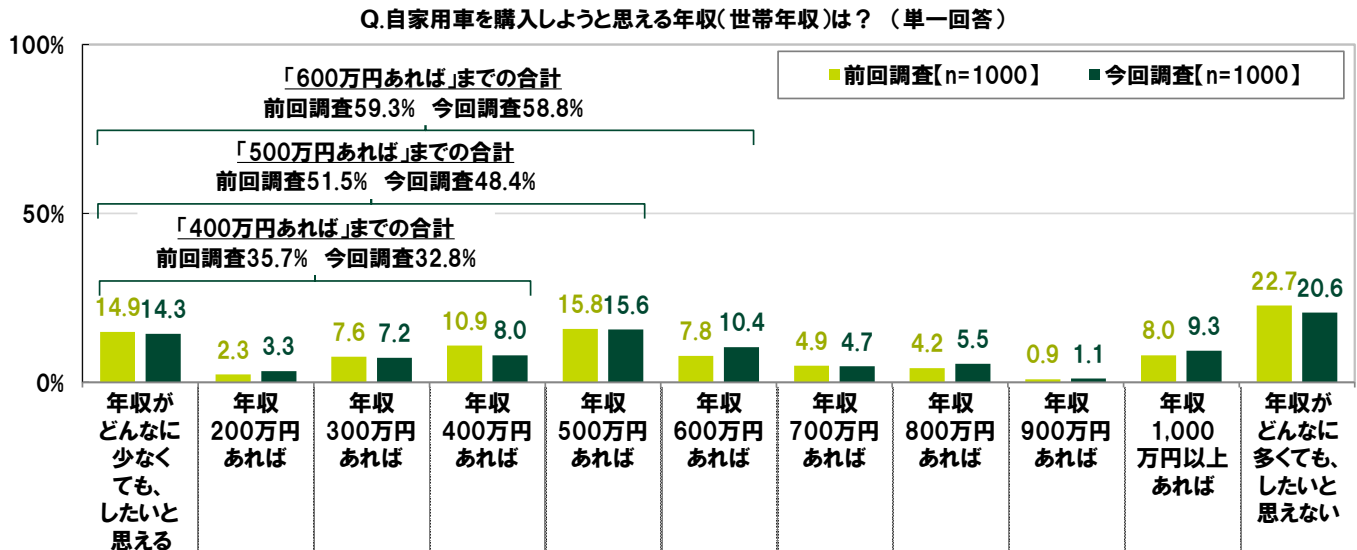


- ≫ 30代・40代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 30代・40代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 800万円」、前回調査からハードルが上昇

自家用車や住宅の購入についても質問しました。

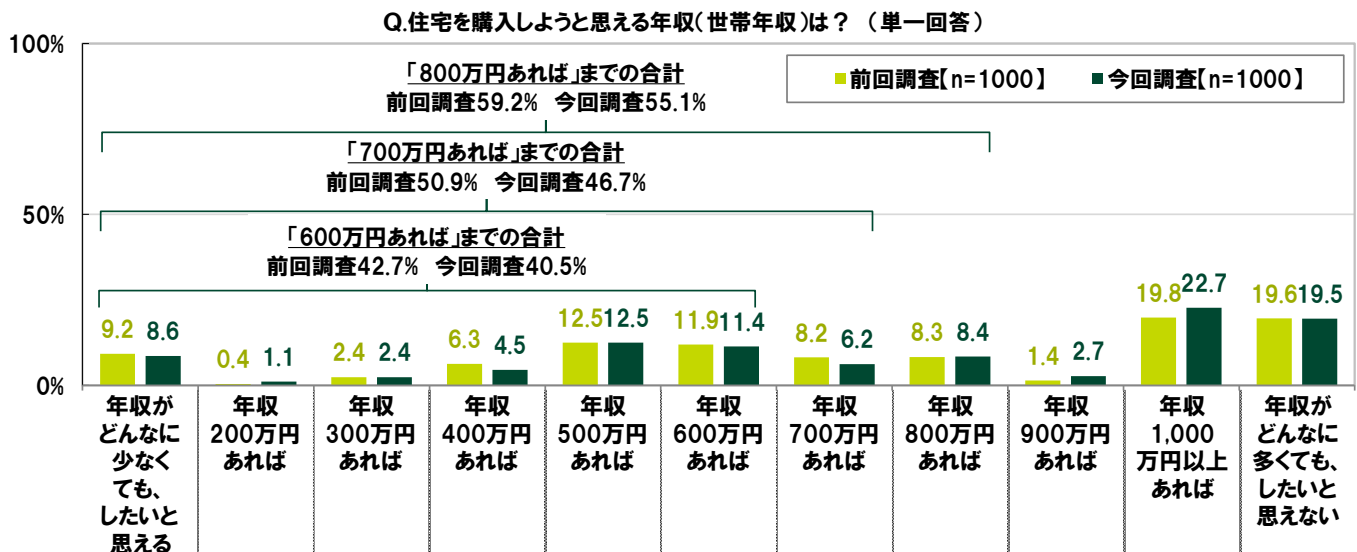
自家用車を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 400 万円でしょうと思える割合は 32.8%、年収 500 万円でしょうと思える割合は 48.4%、年収 600 万円でしょうと思える割合は 58.8%となりました。

前回の調査結果と比較すると、半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは前回調査では年収 500 万円 (51.5%) だったのに対し、今回調査では年収 600 万円 (58.8%) と、ハードルが上がる結果となりました。



また、住宅を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 600 万円でしょうと思える割合は 40.5%、年収 700 万円でしょうと思える割合は 46.7%、年収 800 万円でしょうと思える割合は 55.1%となりました。

前回の調査結果と比較すると、半数以上が住宅を購入しようと思えるのは前回調査では年収 700 万円 (50.9%) だったのに対し、今回調査では年収 800 万円 (55.1%) と、自家用車の購入と同様にハードルが上がりました。



【就業意識と収入】
≫ 30代・40代有職者が管理職になってもいいと思える年収は平均913万円、前回調査から120万円の大幅減少

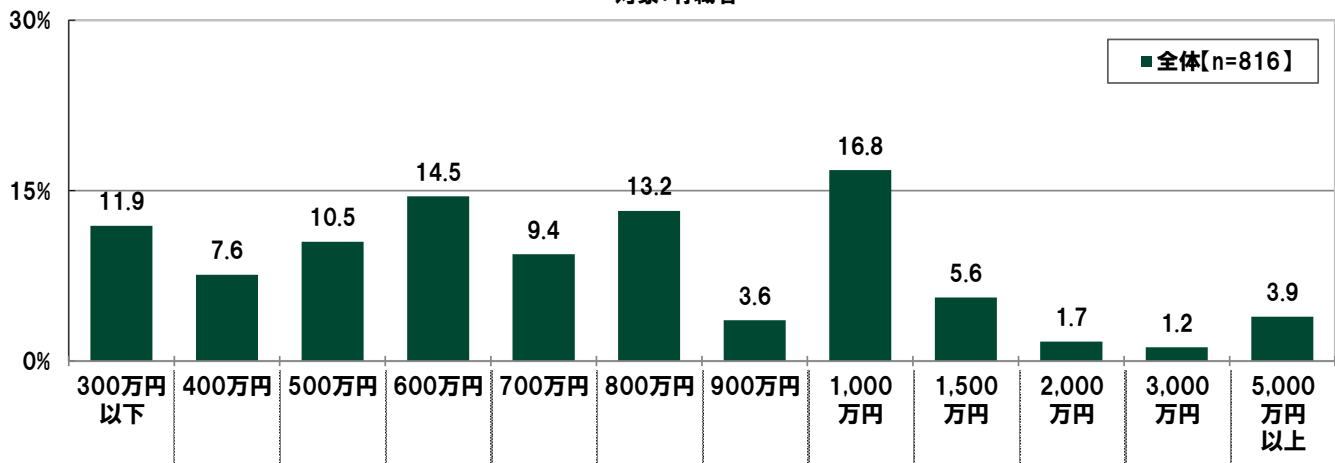
有職者(816名)に、管理職になってもいいと思える年収を聞いたところ、「1,000万円」(16.8%)に最も多くの回答が集まったほか、「600万円」(14.5%)や「800万円」(13.2%)にも回答がみられ、平均は913万円でした。

前回の調査結果と比較すると、管理職になってもいいと思える年収の平均は、120万円の大幅減少(前回調査1,033万円→今回調査913万円)となりました。

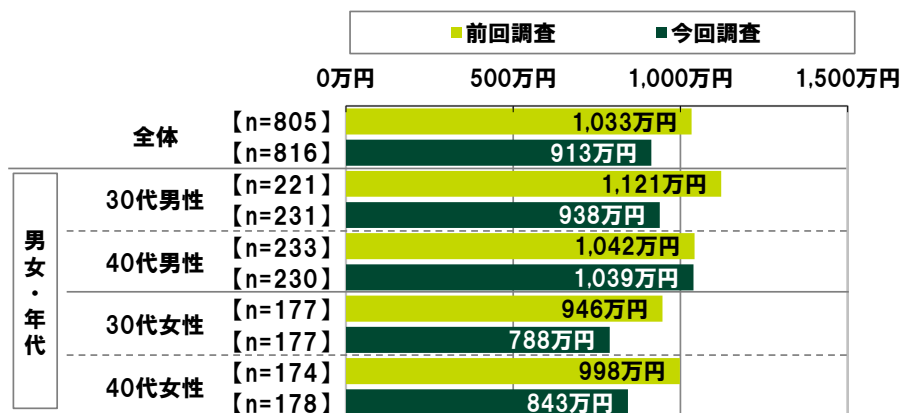
男女・年代別にみると、管理職になってもいいと思える年収の平均は、30代男性では183万円の減少(前回調査1,121万円→今回調査938万円)、40代男性では3万円の減少(前回調査1,042万円→今回調査1,039万円)、30代女性では158万円の減少(前回調査946万円→今回調査788万円)、40代女性では155万円の減少(前回調査998万円→今回調査843万円)となり、40代男性を除くといずれも150万円以上の大幅減少でした。

Q.管理職になってもいいと思える年収は？(単一回答)

対象:有職者


管理職になってもいいと思える年収の平均の変化

対象:有職者

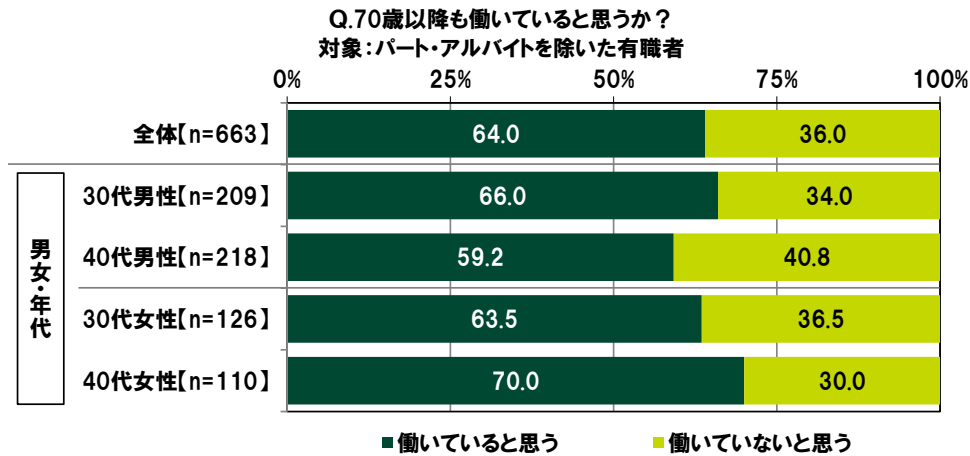


≫ 30代・40代有職者の64.0%が「70歳以降も働いていると思う」と予想
 働いていると思う理由 1位「働かないと生活費が足りないと思うから」

また、70歳以降の就労について質問しました。

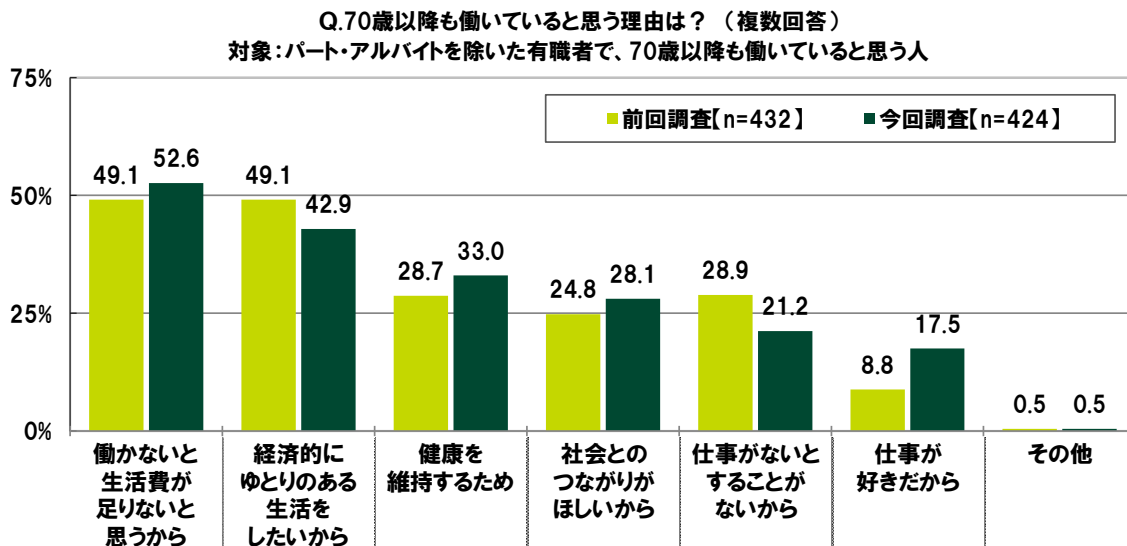
パート・アルバイトを除いた有職者(663名)に、70歳以降も働いていると思うか聞いたところ、「働いていると思う」は64.0%、「働いていないと思う」は36.0%となりました。

男女・年代別にみると、「働いていると思う」と回答した人の割合は、男性では30代66.0%、40代59.2%と30代のほうが高くなったのに対し、女性では30代63.5%、40代70.0%と40代のほうが高くなりました。



70歳以降も働いていると思う人(424名)に、そのように思う理由を聞いたところ、「働かないと生活費が足りないと思うから」(52.6%)が最も高くなり、「経済的にゆとりのある生活をしたいから」(42.9%)、「健康を維持するため」(33.0%)、「社会とのつながりがほしいから」(28.1%)が続きました。

前回の調査結果と比較すると、「働かないと生活費が足りないと思うから」は前回調査49.1%→今回調査52.6%と3.5ポイント上昇し、「経済的にゆとりのある生活をしたいから」は前回調査49.1%→今回調査42.9%と6.2ポイントの下降となりました。賃金の低迷や経済の見通しの悪さ、年金制度に対する不信感などから、老後の生活の厳しさを予想する人が増加傾向にあるのではないのでしょうか。また、「仕事が好きだから」は前回調査8.8%→今回調査17.5%と8.7ポイント上昇しました。人生100年時代を見据え、仕事で得られるやりがいや充実感などに対し、期待を抱く人は増えているようです。



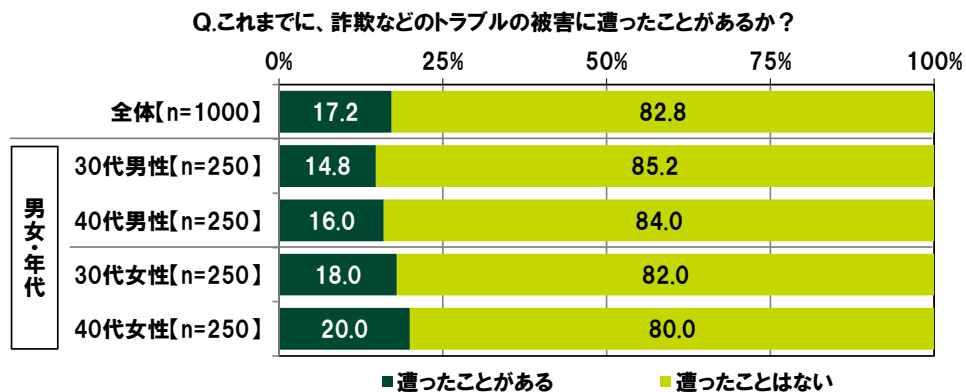
【30代・40代のマネートラブル経験と金融リテラシー】

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」30代・40代の6人に1人
 経験した詐欺被害 1位「マルチ商法・ねずみ講」2位「ネットオークション詐欺」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」30代・40代の4人に1人

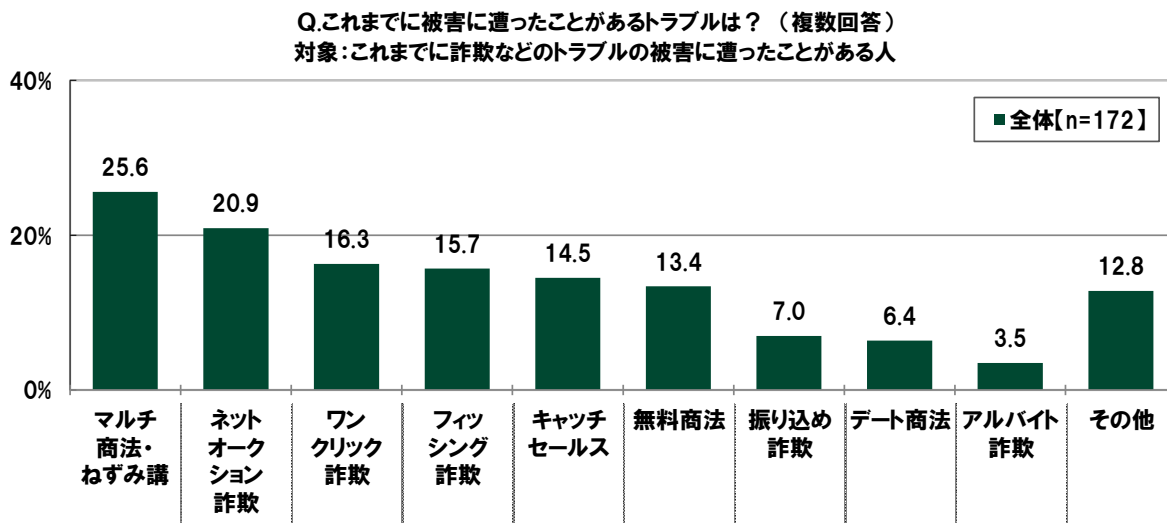
詐欺などのお金に関するトラブルの被害について質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか聞いたところ、「遭ったことがある」は17.2%、「遭ったことはない」は82.8%となりました。

男女・年代別にみると、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人の割合は、40代女性(20.0%)が最も高くなりました。

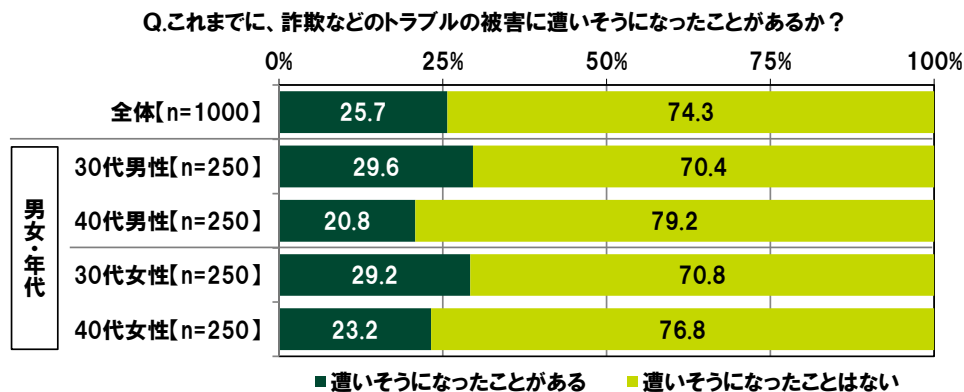


これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(172名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(25.6%)が最も高くなり、「ネットオークション詐欺」(20.9%)、「ワンクリック詐欺」(16.3%)、「フィッシング詐欺」(15.7%)、「キャッチセールス」(14.5%)が続きました。

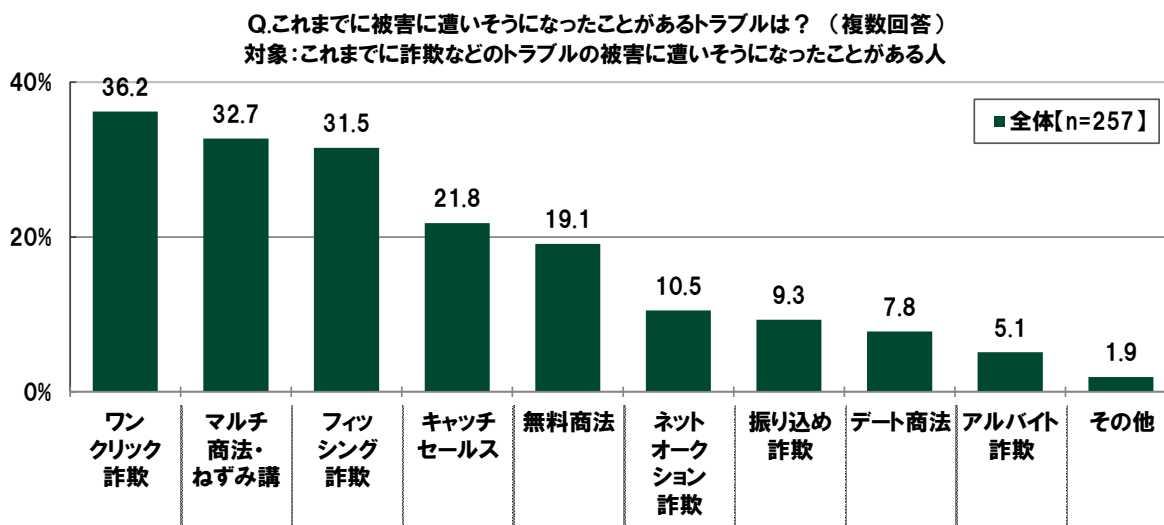


また、全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか聞いたところ、「遭いそうになったことがある」は25.7%、「遭いそうになったことはない」は74.3%となりました。

男女・年代別にみると、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人の割合は、男性では30代29.6%、40代20.8%、女性では30代29.2%、40代23.2%と、男女とも30代のほうが5ポイント以上高くなりました。



これまでに詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(257名)に、被害に遭いそうになったトラブルを聞いたところ、「ワンクリック詐欺」(36.2%)が最も高くなり、「マルチ商法・ねずみ講」(32.7%)、「フィッシング詐欺」(31.5%)、「キャッチセールス」(21.8%)、「無料商法」(19.1%)が続きました。

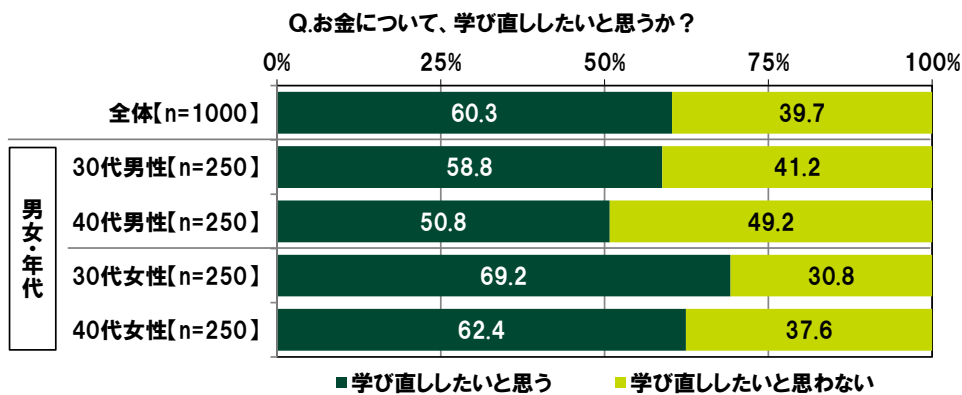


- ≫ 「お金について学び直したい」30代・40代の60.3%
 学び直したいことTOP3は「資産形成・資産運用」「生活設計」「保険・リスク管理」
- ≫ 「子どもにお金について学んでほしい」親の75.7%
 学んでほしいことTOP3は「資産形成・資産運用」「生活設計」「お金のトラブル」

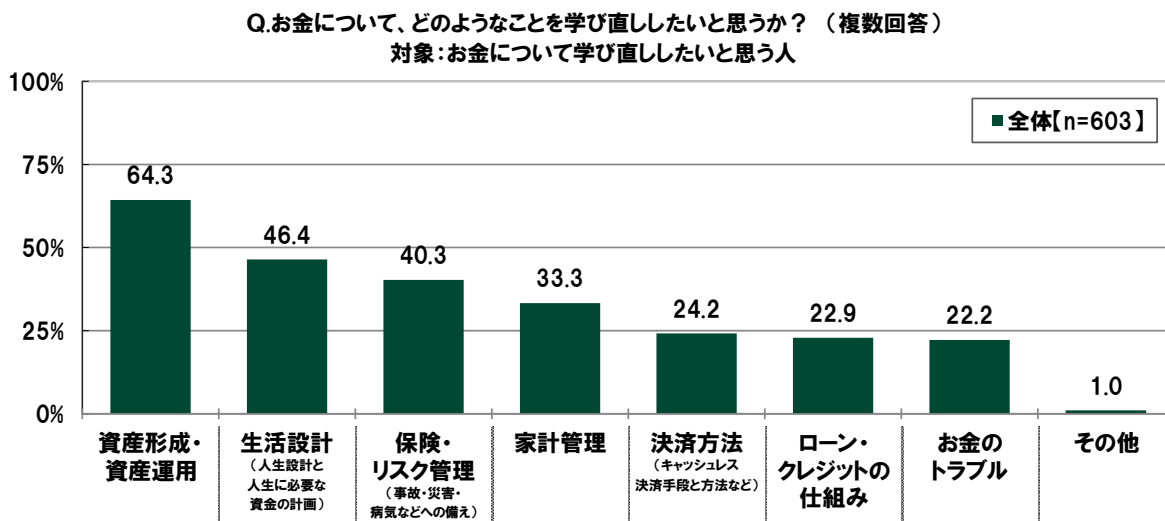
詐欺などのお金に関するトラブルに遭わないようにするには、金融リテラシーを身に付け、高めておくことが大切です。

全回答者(1,000名)に、お金について、学び直したいと思うか聞いたところ、「学び直したいと思う」は60.3%、「学び直したいと思わない」は39.7%となりました。リカレント教育や書籍などを活用し、マネーリテラシーを高めたいと考えている人が多いようです。

男女・年代別にみると、学び直したいと思う人の割合は、30代女性(69.2%)が最も高くなりました。



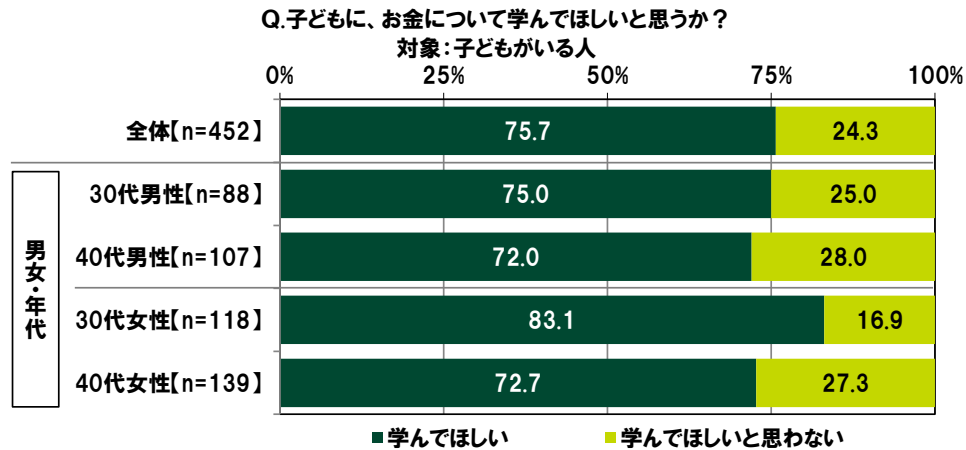
お金について学び直したいと思う人(603名)に、どのようなことを学び直したいと思うか聞いたところ、「資産形成・資産運用」(64.3%)が最も高くなり、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(46.4%)、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(40.3%)、「家計管理」(33.3%)、「決済方法(キャッシュレス決済手段と方法など)」(24.2%)、「ローン・クレジットの仕組み」(22.9%)、「お金のトラブル」(22.2%)が続きました。



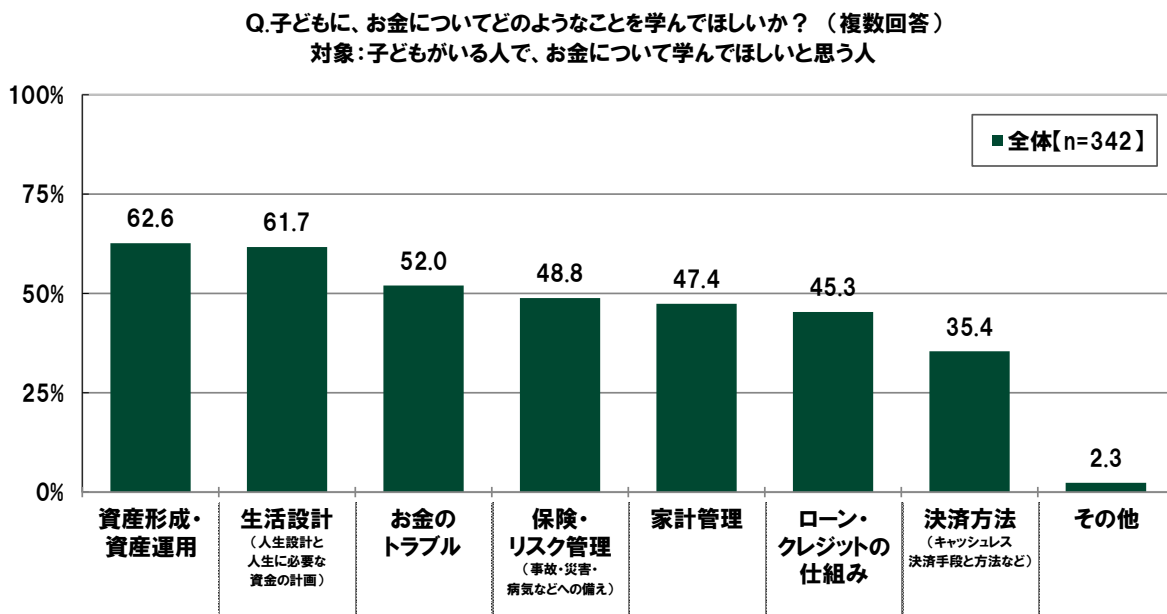
また、子どもの金融教育について質問しました。

子どもがいる人(452名)に、子どもに、お金について学んでほしいと思うか聞いたところ、「学んでほしい」は75.7%、「学んでほしいと思わない」は24.3%となりました。親の大半が子どもへの金融教育を重視しているようです。

男女・年代別にみると、子どもにお金について学んでほしいと思う人の割合は、女性では30代83.1%、40代72.7%となり、世代間で10.4ポイントの差が開きました。未就学児や小学生の子どもを抱える人が多い30代女性には、お金についての知識や情報に早期に触れられるよう、“はじめての金融教育”という機会を子どもに用意してあげたいと考える人が多いのではないのでしょうか。



子どもにお金について学んでほしいと思う人(342名)に、どのようなことを学んでほしいか聞いたところ、「資産形成・資産運用」(62.6%)が最も高くなり、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(61.7%)、「お金のトラブル」(52.0%)、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(48.8%)、「家計管理」(47.4%)が続きました。



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 30代・40代の金銭感覚についての意識調査 2022
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
30歳～49歳の男女
- ◆調査期間 : 2022年2月4日～5日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	30代前半	30代後半	40代前半	40代後半
男性	125	125	125	125
女性	125	125	125	125

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBC コンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 担当 : 広報サステナビリティ推進部 呉藤・佐藤
 TEL : 03-6887-1274
 Eメール : corporate_info@smbc-cf.com
 受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 (英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)
 設立 : 1962年(昭和37年)3月20日
 代表者名 : 金子 良平
 所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号
 事業内容 : 貸金業・保証業